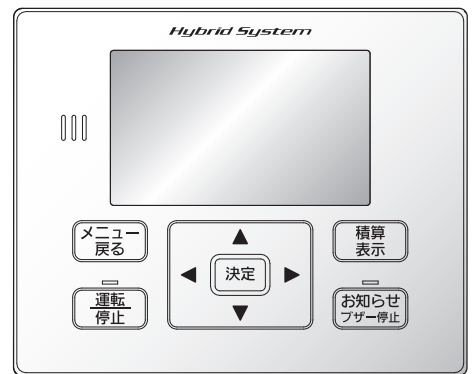


## 取扱説明書

### ハイブリッドパワコン

品番 SHRC55AS-SN(5.5kW・耐塩)



このたびはハイブリッドパワコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4、5ページ)、「本システムに関する重要事項説明」(裏表紙)を必ずお読みください。
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- この商品を利用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。

This equipment is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other countries.

施工説明書別添付



BM164120315001

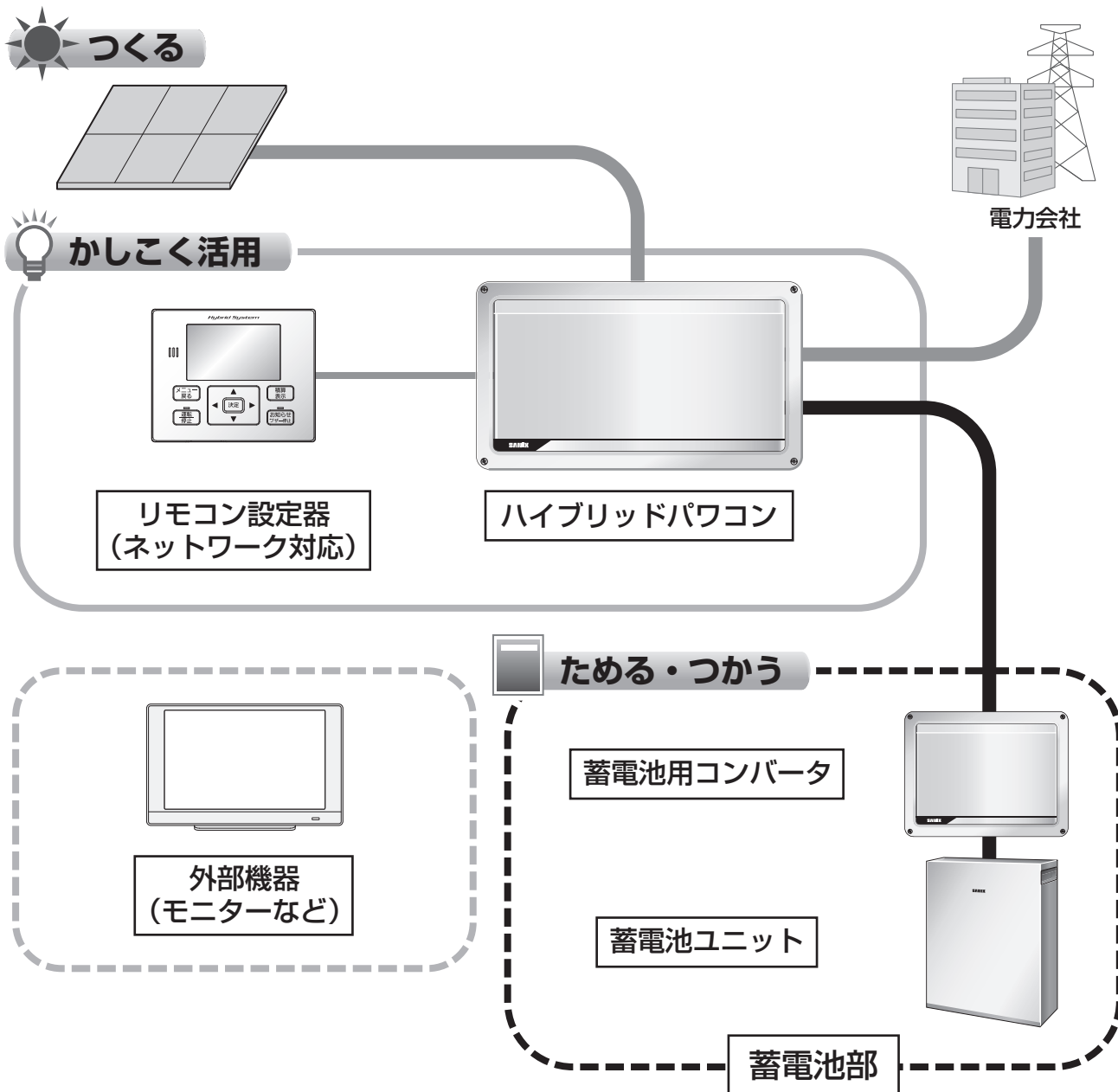
#### 目的に合わせて素早く探す

リモコン画面の見かたを知りたい	
<b>画面の見かた</b>	<b>9～11ページ</b>
運転のしかたを知りたい	
<b>はじめてお使いになるときは</b>	<b>16ページ</b>
停電時に自立運転に切り換えたい	
<b>自立運転について</b>	<b>29ページ</b>
点検コードが表示された	
<b>こんなときは</b>	<b>54ページ</b>

# はじめに

## 暮らしに合わせたシステム選択

ハイブリッドパワコンと蓄電池部が分かれており、お客様の要望に合わせたシステムを選択することができます。



連系運転は以下の3つのモードから選べます



夜間電力を有効に  
使います

### 経済モード

24ページ



自然エネルギーを  
有効に使います

### 環境モード

26ページ



停電時に備え満充電  
状態を保ちます

### 蓄電モード

28ページ

# もくじ

<b>はじめに</b>	<b>2</b>
安全上のご注意	4
システム構成とはたらき	6
リモコン設定器について	8
画面の見かた	9
使用上のお願い	12
<b>はじめてお使いになるときは</b>	<b>16</b>
システムの運転	18
システムの停止	19
積算電力の表示	21
連系運転時の表示について	22
連系運転について（経済モード）	24
連系運転について（環境モード）	26
連系運転について（蓄電モード）	28
自立運転について	29
自立運転時の動き	34
設定・確認のしかた	36
蓄電池ユニットについて	50
点検停止のお知らせについて	52
<b>こんなときは</b>	<b>54</b>
■放電しない場合	54
■太陽光発電システム専用ブレーカを 切りたいとき<維持充電>	54
■システムを停止したいとき	54
■運転を停止したいとき<停止>	55
■運転を再開したいとき<再開>	55
■AiSEG2 を接続している場合	55
■点検コードが表示されたとき	56
■点検コードの内容と処置のしかた	57
<b>点検とお手入れのしかた</b>	<b>62</b>
ファームウェアアップデートについて	64
<b>仕様</b>	<b>65</b>
<b>補助金申請関連仕様</b>	<b>66</b>

本文中、「リモコン設定器(ネットワーク対応)」を「リモコン設定器」と説明しています。



AiSEGなどから  
かしこく制御します

**外部制御**

22ページ



# 安全上のご注意

よくお読みください



確実に点検を行うとともに以下のことを必ずお守りください。

- 万一、注意事項に従わず使用された場合の事故や故障などについては、責任を負いかねます。
- 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




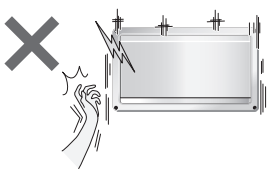

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。






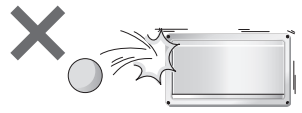
	<b>警告</b>	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	<b>注意</b>	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。  
(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

## ■ 取り扱いについて

 <b>警告</b>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハイブリッドパワコンの前面パネルを外したり、ハイブリッドパワコンやリモコン設定器の分解、改造をしない 火災・感電・やけど・けが・故障の原因になります。</li> <li>● ハイブリッドパワコンの上に乗ったり、ぶら下がったりしない ハイブリッドパワコンが落下して、けが・感電・故障の原因になります。</li> <li>● ペースメーカーなどを使用されている方はハイブリッドパワコンに近づかない ペースメーカーに影響を与える原因になります。</li> </ul>
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 災害発生時や雷鳴時には機器に手を触れない 感電・けが・やけどの原因になります。</li> </ul> 
 必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下記のようなときは、運転を停止して、住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF(切)にする ・地震・火災などの非常時 ・ハイブリッドパワコンが浸水したとき ・ハイブリッドパワコンから煙が出ていたり、異臭・異常音がするとき ・住宅用分電盤の漏電遮断器が頻繁に動作するとき ・太陽電池モジュールに損傷(割れ、きず、亀裂、変形)が見られたとき ・太陽光発電システムを外す場合 そのまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。</li> <li>● ハイブリッドパワコンのお手入れなどをする際は、運転を停止する 感電・やけどの原因になります。</li> <li>● 水没時や自然災害時、雷鳴時にはハイブリッドパワコンに近づかない 水没後は水が引いても使用しないでください。 感電・発熱・発火などの原因になります。処置はお買い上げの販売店または施工店にご相談ください。</li> </ul>

 <b>注意</b>	
 接触禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハイブリッドパワコンの運転中はハイブリッドパワコンに手を触れない ハイブリッドパワコンが運転中の時は温度が上昇するため、不用意に手を触れないでください。 やけどの原因になることがあります。 特にお子様、お年寄りのいるご家庭ではお気を付けてください。</li> </ul>
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上に物を置かない ハイブリッドパワコンの上に物を置かないでください。 運転時の発熱で、発火して火災などの原因になります。</li> </ul> 
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高圧洗浄の水をかけない 火災や故障の原因になります。</li> <li>● ハイブリッドパワコンやリモコン設定器に振動や衝撃を与えない 火災や故障の原因になります。</li> </ul> 

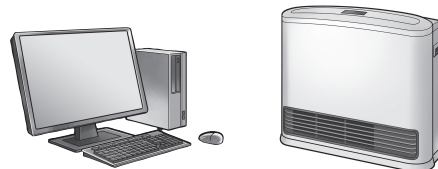
## ■ 自立運転を行う場合

### ⚠ 警告



● 自立運転時に給電されるコンセントに以下の電気機器をつながない

- ・ 全ての医療機器、防犯機器
- ・ デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器
- ・ 灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器
- ・ 転倒時の安全装置がない電気ストーブや電気こんろなど電熱器具
- ・ その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器



蓄電池残量が不足しているときの自立出力は、天候の状態により定格容量に達しない場合があります。ハイブリッドパワコンの出力電力よりも、使用する電気機器の消費電力が大きいときは運転を停止します。

● 自立運転時に給電されるコンセントには、自動で給電された場合に不安全となる可能性がある機器は接続しない(自動切換設定時)

### ⚠ 注意



必ず守る

- 説明書に従って点検を実施し、ハイブリッドパワコンや自立運転時に給電されるコンセントに接続される電気機器が、安全な状態であることを確認してから自立運転を開始する(手動切換設定時)
- 自立運転開始後に、ハイブリッドパワコンや自立運転時に給電されるコンセントに接続している電気機器から発煙、異臭や異音がした場合は、直ちに自立運転を停止する

## ■ 近くではいけないこと

### ⚠ 警告



禁止

● ガソリンやベンジンなどを近くに置かない

ガソリンやベンジンなどの引火性溶剤を、機器の近くに置いたり、使用したりしないでください。火災・故障の原因になります。

● ハイブリッドパワコンの近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない

引火し、やけどや火災の原因になります。

● ハイブリッドパワコンの近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない

ハイブリッドパワコンの近くで、ストーブなど発熱するもの、および炊飯器や加湿器など蒸気の出る機器を使用しないでください。漏電・火災・故障の原因になります。

### 免責事項について

- お客様もしくは第三者が本機の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の使用に際して接続した機器の故障などの補償や、本機の故障によって生じた本機以外の直接・間接の損害について、当社は一切その責任を負いません。
- 本機の不具合など何らかの原因で、外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合や外部メディア・記録機器などに既に記録されていた機器内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。

以上、あらかじめご了承ください。

# システム構成とはたらき



## 太陽電池モジュール

太陽光エネルギーを受けて発電します。

## ハイブリッドパワコン

太陽電池モジュール、蓄電池ユニット、商用電源(系統電源)の電力をコントロールします。停電時、バックアップ回路に電気を流します。

## バックアップ回路

- ・パナソニック製電力切替ユニット
- ・バックアップ用住宅分電盤

停電時にも自立運転で接続した機器を使うことができます。

## 蓄電池用コンバータ

蓄電池ユニットとの電力変換を円滑に行い、効率良く蓄電池ユニットの電力を使います。

## 外部機器

電力検出ユニットや AiSEG 2 を接続することで、発電量や家庭内の電気の使用量を計測します。

## ためる

## 蓄電池ユニット

電力を蓄え、夜間や停電時など必要なときに電力を利用できます。ハイブリッドパワコンと連携して、停電時だけでなく、平常時も電力を有効活用できます。

## ※自立運転コンセント

自立運転時に電気機器を接続します。別途、配線工事が必要です。設置場所はお引渡し時にご確認ください。

## 遠隔出力制御について

本製品は、2015年1月22日公布の電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令と関連告示に対応した機器です。遠隔出力制御を行うためには、対応した以下の機器が必要です。

- ・ハイブリッドパワコン(制御対応)
- ・出力制御ユニット(電力検出ユニット、モニターなど)

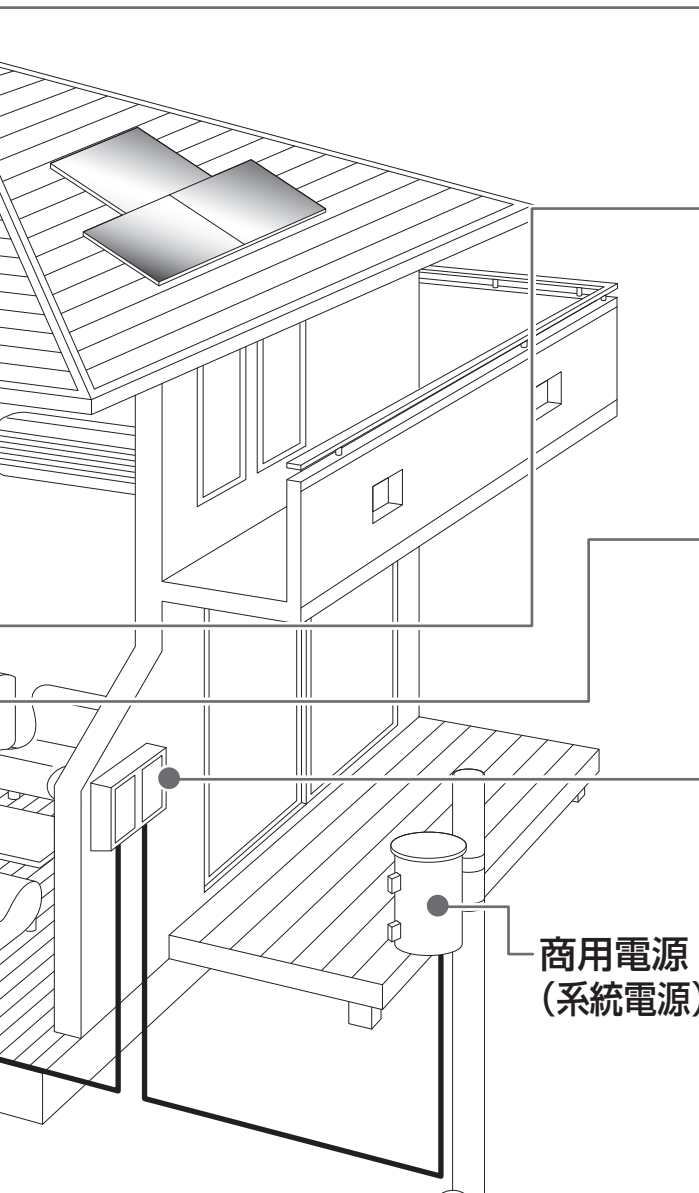
また、電力会社によっては、原則インターネット接続が必要です。

なお、インターネット回線をご準備いただく場合は、下記の費用はお客様のご負担となります。

- ・インターネット回線契約・利用に伴う費用 など

遠隔出力制御の内容につきましては、各電力会社のホームページをご覧ください。

遠隔出力制御の対応のため、出力制御ユニットのファームウェア(ソフトウェア)の更新や設置場所での作業(有償)が必要となる場合もあります。



### 住宅用分電盤

ブレーカを介して電気を各部屋に分配します。

### リモコン設定器(ネットワーク対応)

ハイブリッドパワコン、蓄電池用コンバータおよび蓄電池ユニットの設定や発電、充放電の状況を表示します。

### 見える化

#### モニター

発電量や家庭内の電気の使用量を表示します。

#### 売電用電力計

発電電力のうち、住宅で使用されずに電力会社に売電される電力量を計量します。

#### 買電用電力計

夜間や日射量の少ない時に、電力会社から購入する電力量を計量します。

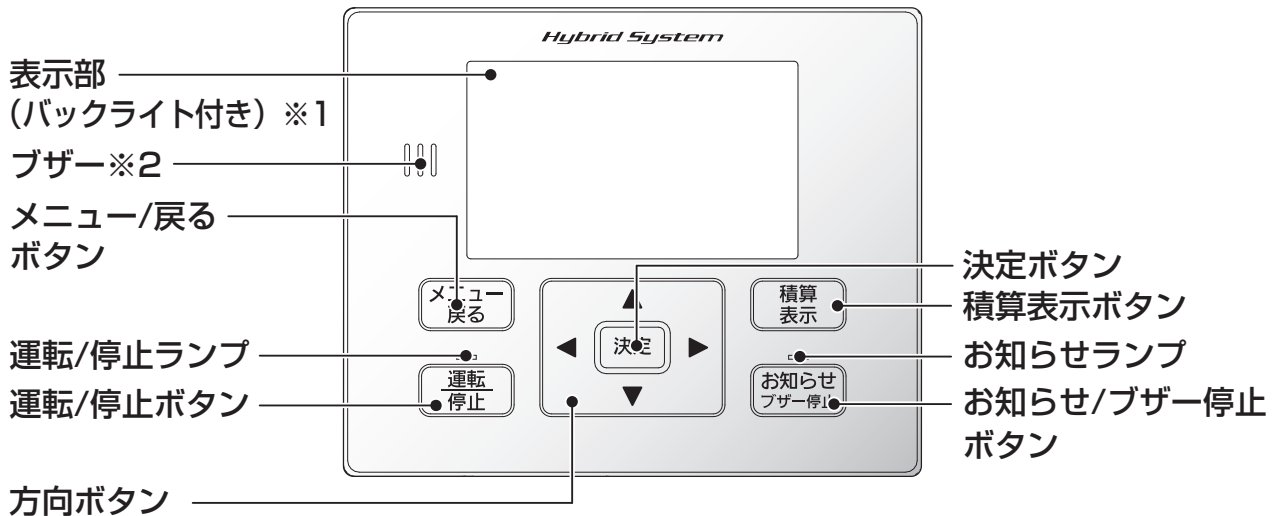
商用電源  
(系統電源)

(イメージ図であり、実際の設置状況を示すものではありません)

AiSEG2や電力検出ユニット、モニターなどの機器を接続する場合には、必ず接続機器の説明書もご確認ください。

# リモコン設定器について

## リモコン設定器の機能説明



ブザー音：お知らせ発生時（停電・復電・点検コード発生・蓄電池残量低下など）にブザーが鳴ります。  
 [ブザー停止] ボタンを押すと止まります。  
 操作がなければ、約1分間で自動停止します。（蓄電池残量低下時は自動停止しません。）  
 その後約5時間ごとに鳴ります。（ただし、21時～7時の間は鳴りません。）

### ボタン・ランプ名

### 説明

表示部	情報を表示します。
メニュー/戻る	トップ画面のときはメニュー画面に切り換ります。 それ以外では前の画面に戻ります。
運転/停止	運転または停止する時に使用します。 運転中、待機中は点灯。停止時は消灯します。
積算表示	今までの発電量・放電量が画面に表示されます。
お知らせ/ ブザー停止	お知らせが発生したら、ランプの点灯や点滅にて知らせます。 点灯・点滅時、ボタンを押すと画面にお知らせ内容が表示されます。 ブザーが鳴動している場合は、ブザー音が停止します。
決定	項目の選択後、決定時に使用します。
方向 (▲▼◀▶)	カーソル移動、数字合わせに使用します。

※1 設定した時間（初期設定：1分）が経過するとバックライトが消灯します。消灯時、いずれかのボタンを押すと点灯します。  
バックライト点灯中のみ操作が可能です。

※2 ボタンの操作音：正しい操作の時は「ピッ」と1回鳴り、誤った操作の時は、「ピッ、ピッ、ピッ」と3回鳴ります。



# 画面の見かた

リモコン設定器のボタンの機能などは 8 ページをご確認願います。

## 連系運転時の画面説明

### モード表示 (連系のみ)

経済 / 環境 / 蓄電 (24 ~ 28 ページ参照)  
外部制御 / 出力制御 (22 ページ参照)

### 運転状態

連系運転中 - 連系運転状態  
連系待機中 - 太陽光、蓄電池、商用電源が全て待機状態  
連系停止中 - 手動による停止または、異常による停止状態

### お知らせ発生時にアイコン表示

[お知らせ] ボタンを押すと発生内容が表示されます。(23ページ参照)

### ネットワーク接続状態

設定状態	接続時表示	未接続時
有線LAN		
無線LAN		
ネットワーク無効	表示なし	

### 現在の時刻

(45ページ参照)

蓄電池 充電中  
1.5kW  
残量 80%  
連系運転開始まで  
270秒

**復電タイマー表示**  
停電から復旧し、  
発電が開始する  
まで表示されます。  
(33ページ参照)

### 蓄電池状態

充電中 / 放電中 / 待機中 / 停止中 / 未接続

### 蓄電池充放電電力

### 蓄電池残量



### お知らせ情報

を押すと発生内容が表示されます。(23ページ参照)

連系運転中 蓄電 15:30

太陽光 発電中 2.5kW

蓄電池 充電中 12.5kW  
残量 100%

お知らせがあります  
11F306

商用電源 出力中

### 入出力状態

(入出力先は、商用電源またはバックアップ回路)  
入力中 - 電力会社からの電力を充電中  
出力中 - 太陽光発電電力、蓄電池放電電力を住宅用分電盤へ出力中  
待機中 - 発電状況、充放電設定時間、電気機器の使用状況に応じて入出力可能な状態  
停止中 - 入出力を停止している状態

### 抑制/自立出力表示

: 連系運転時の抑制をしている際に表示されます。(22ページ参照)  
 : 自立運転時に100 V出力する場合に表示されます。  
 : 自立運転時に200 V出力する場合に表示されます。  
※ 表示はパワコン切替で表示されます。

### 太陽光運転状態

発電中 / 待機中 / 停止中  
発電電力が0 kWのときでも発電中と表示される場合があります。

## ■太陽光パワーコンディショナ増設時の画面

連系運転中 15:30

太陽光 発電中 5.0kW

商用電源 出力中

TOP 1 2  
接続台数: 2台

商用電源 出力中

お知らせがあります  
11H101

増設した太陽光パワーコンディショナの発電量を確認することができます。

トップ画面で または、 を押すことによって増設した太陽光パワーコンディショナの表示に切り換わります。

太陽光パワーコンディショナを増設しない場合は、表示されません。

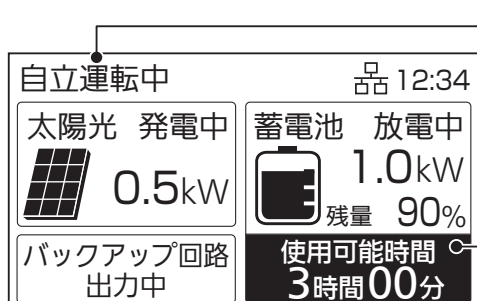
太陽光パワーコンディショナ増設時に、お知らせ情報が表示された場合には、左図のように表示されます。例では、点検コードは「11H101」です。太陽光発電電力はパワーコンディショナ「1」を表示しています。

# 画面の見かた(つづき)

## 自立運転時の画面説明 \*以下の表示以外は連系運転と同様です。

自立運転時には、運転状態の表示が変わります。

太陽光発電電力と充放電電力により自立運転出力回路に接続された機器の消費電力が算出できます。自立運転については、29 ページ以降もご確認ください。



### 運転状態

自立運転中—自立運転状態  
自立停止中—運転停止操作をした場合

### 使用可能時間

自立運転時に、蓄電池の残量と消費電力により使用可能な時間の目安が表示されます。

充電中のときは、**使用可能時間**  
--時間--分 と表示されます。



太陽光パワーコンディショナ増設時に、自立運転をしている場合には、  
◀ または ▶ を押すことによって運転状態を確認できます。

- ・自立運転出力電力は、蓄電池状態が「放電中」の時は、太陽光発電電力と充放電電力の合算値となります。「充電中」の時は、差分値となります。(画面例：太陽光発電電力：0.5 kW、充放電電力(放電中)：1.0 kWの時、自立運転出力電力は、1.5 kWとなります。)

## 維持充電時の画面説明 \*以下の表示以外は連系運転と同様です。

維持充電時には、運転状態の表示が変わります。



維持充電とは、蓄電池ユニットの約 40%残量を保つように太陽光発電の電力を充電する運転です。

太陽光発電電力、蓄電池ユニットの電力を、住宅用分電盤や、バックアップ用住宅分電盤へ出力しません。

※長期不在時、太陽光発電システム専用ブレーカを切りたいときに維持充電運転に切り換えます。(54 ページ参照)

## お知らせ情報の表示について

お知らせ発生時には、お知らせアイコンと共にお知らせ情報が表示されます。**お知らせブザー停止** を押すことで発生内容が表示されます。

**お知らせがあります**  
11F306  
**お知らせ通知**  
システムに問題が発生し、点検コードを表示します。(58~60ページ参照)

6ヶ月  
3ヶ月  
1ヶ月

**点検時期のお知らせ**  
6か月以内に停止します

**蓄電池点検停止予告**  
点検時期が近づいてきています。(52ページ参照)

**停電または復電が発生しています**  
**停電／復電検知**  
停電、または復電していますが、運転切換していません。(32、33ページ参照)

**蓄電池残量が低下しています**  
**蓄電池残量低下**  
蓄電池残量が10%以下になっています。(51ページ参照)

# 画面の見かた (増設した太陽光パワーコンディショナ)

## 連系運転時の画面説明

### お知らせ発生時にアイコン表示

[お知らせ]ボタンを押すと発生内容が表示されます (23ページ参照)

### ネットワーク接続状態

設定状態	接続時表示	未接続時
有線LAN		
無線LAN		
ネットワーク無効	表示なし	

### 運転状態

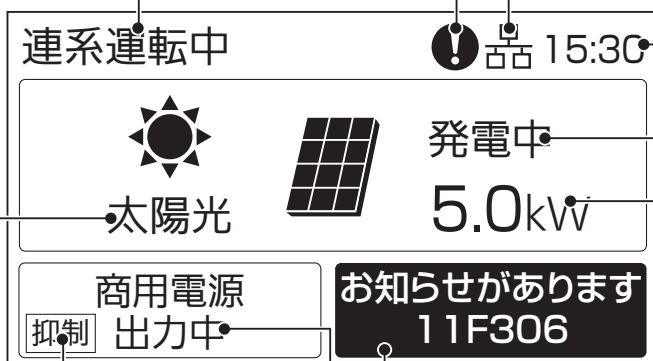
連系運転中—連系運転状態  
連系停止中—手動による停止  
または、異常による  
停止状態

### 発電状態

太陽光での発電時に表示します。

### 抑制/自立出力表示

**抑制**：連系運転時の抑制をしている際に表示されます。(22ページ参照)  
**自100**：自立運転時に100 V出力する場合に表示されます。  
**自200**：自立運転時に200 V出力する場合に表示されます。  
※**自100****自200**表示はパワーコン切替で表示されます。



現在の時刻  
(45ページ参照)

### 太陽光運転状態

発電中/待機中/停止中発電  
電力が0 kWのときでも発電中  
と表示される場合があります。

### 太陽光発電電力

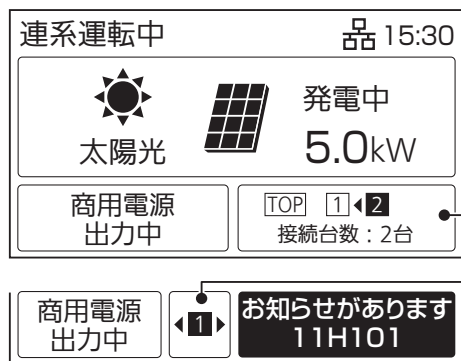
### お知らせ情報

**お知らせ  
フザー停止** を押すと発生内容が表示されます。(23ページ参照)

### 入出力状態

(入出力先は、商用電源またはバックアップ回路)  
出力中—太陽光発電電力を住宅用分電盤へ出力中  
待機中—発電状況、電気機器の使用状況に応じて入出力可能な状態  
停止中—入出力を停止している状態

## ■切換時の画面



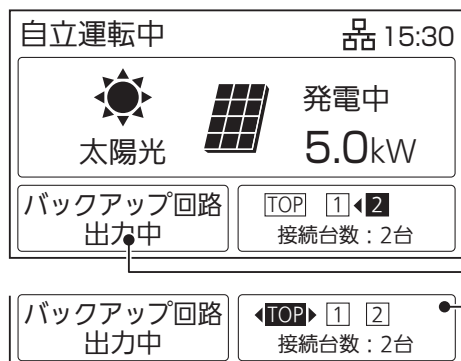
増設した太陽光パワーコンディショナの発電量を確認することができます。

トップ画面で または、 を押すことによって増設した太陽光パワーコンディショナの表示に切り換わります。  
太陽光パワーコンディショナを増設しない場合は、表示されません。

太陽光パワーコンディショナ増設時に、お知らせ情報が表示された場合には、左図のように表示されます。例では、点検コードは「11H101」です。太陽光発電電力はパワーコンディショナ「1」を表示しています。

## 自立運転時の画面説明

自立運転時には、運転状態(自立運転出力回路に接続された機器の消費電力)の表示に変わります。自立運転については、29 ページ以降もご確認ください。



自立運転時は左図のように「自立運転中」の表記と共に、

**バックアップ回路  
出力中** と表示されます。

太陽光パワーコンディショナ増設時に、自立運転をしている場合には、  
 または、 を押すことによって運転状態を確認できます。

# 使用上のお願い

## 設置場所について

ハイブリッドパワコンの前方には、点検スペースとして800 mm以上を確保することを推奨します。また、上下左右は放熱、点検のために、右図に示すスペースが必要です。範囲内に物を置かないでください。

■ハイブリッドパワコンの周辺は以下の状態にして  
ください。

- 油煙・ホコリが少ない状態
- 腐食性ガス・液体がかからない状態

■アマチュア無線のアンテナが近隣にあるところでは、無線機にノイズが発生するおそれがあります。

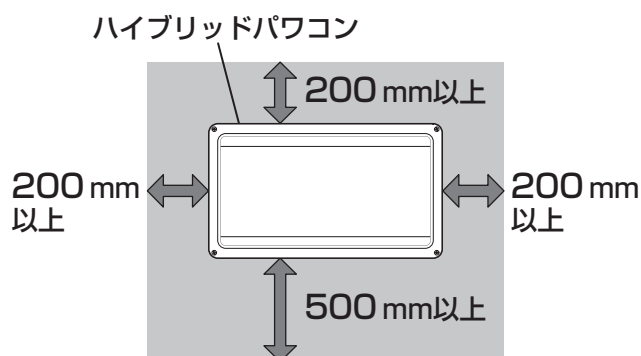
■リモコン設定器は電波の干渉による悪影響を防止するため、下記のような電波を使う機器からできるだけ離してご使用ください。

- 電子レンジ、ほかの無線LAN機器、Bluetooth対応機器
- そのほか、2.4 GHz帯の電波を使用する機器

■受信障害を避けるため、ラジオ・携帯電話などはハイブリッドパワコンの近くでご使用にならないでください。

■電気的雑音の影響を受けると困る電気機器をハイブリッドパワコンの近くで使用しないでください。

電気機器の正常な動作ができなくなる原因になります。



## お知らせ

### ■発電電力について

太陽電池モジュールの定格出力は、JIS(日本産業規格)で定められた一定の条件下で算出された数値が示されています。

実際の発電は、日射強度や周囲温度、設置された方位や角度により異なります。

したがって、晴天日であっても常に定格どおりの発電が行われているわけではありません。

晴天の日中では、定格出力の約7～8割の発電電力が、おおよその目安です。

### ■毎日の運転操作は不要です。

- 一度運転を開始させると、運転モードに従い、日射量・時刻・蓄電残量などに応じて自動的に運転します。
- 夜間・雨天時や蓄電池からの放電不足で、ハイブリッドパワコンの出力が足りないときは、従来どおり、商用電源(電力会社)から自動的に電力供給されます。

### ご注意

●運転中に下記の音(正常動作音)がハイブリッドパワコンからすることがありますが、異常ではありません。

- ・「キュー音」：朝、夕方などの日射量が少なくなるときの制御電源から発生する音
- ・「カチッ音」：運転の開始および停止のときに連系用リレーから発生する音
- ・「ジージー音」「キー音」：高周波スイッチング動作により内部機器から発生する音

### ■停電時に機器を使用するためには切換操作が必要です。

●自立運転を行う際は、必ずリモコン設定器の切換操作を行ってください。

ただし、自立運転の切換方法を自動切換に設定した場合は、切換操作は不要です。

(パナソニック製電力切替ユニットなしの場合は、自立運転の切換方法を自動切換にしないでください。)

●自立運転の切換方法が手動切換か自動切換かをご確認ください。

詳細は「自動/手動切換設定」(48 ページ)をご確認ください。

## お知らせ(つづき)

### ■充電・放電動作に移行の際は時間が空くことがあります。

- 充電状態に移行する際に、数秒間放電状態をはさむ場合があります。

### ■ご使用者が変わる場合には、必ず取扱説明書をご確認の上、操作を行ってください。

- 特に、「安全上のご注意」(4～5 ページ)「免責事項」(5 ページ)は必ずご確認ください。

## 無線LAN使用上のご注意

- 「アクセスポイント」を使ってリモコン設定器を無線LANに接続する場合は、ネットワーク設定で「無線LAN」に設定してから無線LAN接続設定を行う必要があります。(40 ページ参照)

- 無線LANもしくは有線LANのどちらか 1 つの方式で通信を行うため、無線LANをご使用の場合は有線LANでは使用できません。

無線・有線が自動的に切り替わることはありません。

### ■使用周波数帯

無線LANで使用する周波数は、ほかの無線機器も同じ周波数帯を使用している可能性があります。

ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記の「使用上の注意事項」をご確認のうえご使用ください。

### ■使用上の注意事項

リモコン設定器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. リモコン設定器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、リモコン設定器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お買い上げの販売店または施工店にご連絡いただき、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. そのほか、リモコン設定器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合は、お買い上げの販売店または施工店へお問い合わせください。

### ■周波数表示の見かた(リモコン設定器裏面のモデル銘板に記載)

変調方式が

DS-SSとOFDM

2.4 GHz帯を使用



電波干渉距離40 m以下

2.4 GHzの帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

### ■機器認定

内蔵無線LANは、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。

ただし、内蔵無線LANを分解・改造することは、電波法で禁止されています。

# 使用上のお願い(つづき)

## 無線LAN使用上のご注意(つづき)

### ■使用制限

- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての使用環境で無線LAN接続が使用出来ることを保証するものではありません。
- 無線通信時に発生したデータおよび情報の漏えいについて、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

### ■IEEE802.11b/g/n対応のアクセスポイントをお選びください。

〈推奨のアクセスポイント・中継機〉

- (株)バッファロー製
- NECプラットフォームズ(株)製

### ■通信内容の傍受、不正利用、なりすましなどを防止するために、適切なセキュリティ設定(暗号化設定)を行ってください。

アクセスポイントの認証・暗号化設定は、暗号化なし以外の設定を推奨します。  
詳しくはアクセスポイントの説明書を参照してください。

### ■アクセスポイントのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。

アクセスポイントのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、無線LANの設定・使用方法などに関するお問い合わせには、当社ではお答えできません。  
(アクセスポイントのセキュリティ設定によっては、リモコン設定器と接続できない場合があります。)

### ■当社では、ネットワークセキュリティに関する技術情報についてお答えできません。

### ■リモコン設定器は電波の干渉による悪影響を防止するため、下記のような電波を使う機器からはできるだけ離してご使用ください。

- 電子レンジ、ほかの無線LAN機器、Bluetooth対応機器
- そのほか、2.4 GHzの電波を使用する機器

### ■回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定を行ってください。

- 接続する機器の説明書も参照してください。
- 契約により、リモコン設定器やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては、正常に動作しないことがあります。
- リモコン設定器は公衆無線LANへの接続には対応しておりません。

機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。  
パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。  
当社では不正利用された場合の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

### ■通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID、パスワード、通信画像やEメールなどの通信内容を盗み見られる可能性があります。

### ■不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
  - 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
  - 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
  - コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- などの行為をされてしまう可能性があります。

上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、お客様が無線LAN製品をご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関する設定を無線LAN製品の説明書にしたがって行ってください。本件のために生じた損害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## インターネット接続に関するご注意

リモコン設定器で取り扱っているデータがインターネット経由で第三者からアクセスされることを防止するため、リモコン設定器を含むHEMS機器をインターネット接続する場合は、必ず以下の点にご注意ください。

※インターネットから宅内へ接続される場合は、ルーターを経由してください。

- リモコン設定器のインターネット接続にはADSL、FTTH(光ファイバー)、CATV(ケーブルテレビ)などインターネット常時接続サービスが必要です。
- インターネットサービスのご契約はお客様ご自身でお願いします。
- プロバイダーの指定はありませんが、必ずルーターが必要です。  
インターネットサービスプロバイダーがルーターの設置を許可しているかご確認ください。
- リモコン設定器をインターネット回線に接続すると、サービス契約する・しないに関わらず、ハイブリッドパワコンとファームアップサーバー間で定期的に通信します。よって、インターネット回線契約は定額制の契約を選択されることを推奨します。
- ADSL、FTTH、CATVなど、多様なインターネット接続サービスがありますが、すべての地域でサービスが提供されているとは限りません。各事業者様にご確認ください。
- ADSL、FTTH、CATVでは事業者様により使用機器(モデム、ルーターなど)が決まっている場合、複数台接続時の契約や使用機器が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。

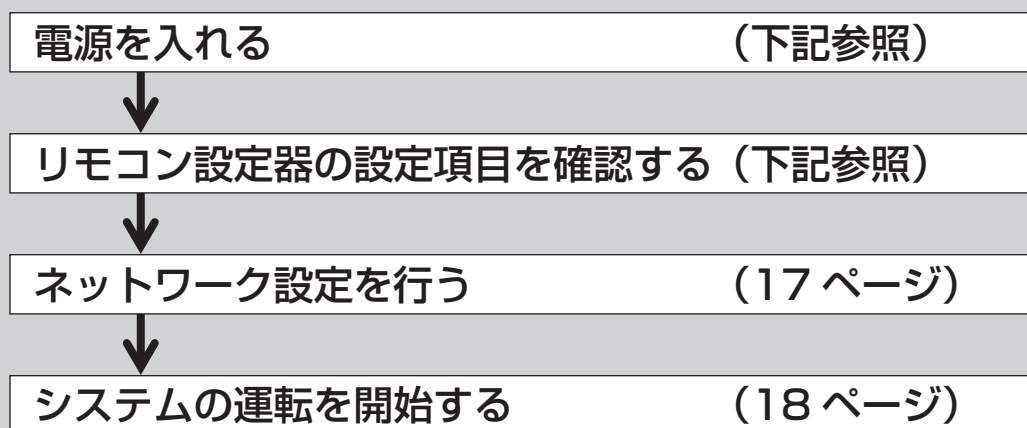
## ファームウェアアップデートに関するご注意

リモコン設定器は、インターネットに接続されていると、1日1回(不定期)サーバーにアクセスし、ファームウェアアップデートの確認をします。ファームウェアが更新されると、お知らせが表示されます。更新方法については、「ファームウェアアップデートについて」(64ページ)をご確認ください。

# はじめてお使いになるときは

はじめてお使いになるときは、施工店に『システムの運転を開始する』の実施を依頼してください。

(運転前に電力会社との連系協議と竣工検査が必要です)



## 電源を入れる

はじめてお使いになるときは、施工会社に下記の状態を確認の上、各種設定を行い、運転を開始してください。

- 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカがON(入)になっていること。
- 蓄電池ユニットの運転ランプが赤点灯し、状態ランプが消灯していること。

## リモコン設定器の設定項目を確認する

以下の最初の操作は、施工店に実施を依頼してください。

- 運転モード設定**…経済/環境/蓄電を選択します。  
(38 ページ参照)
- 充放電時間帯設定**…充電・放電可能な時間帯を設定します。  
経済モードの際に必要となります。(38 ページ参照)
- 放電下限設定**…放電量の下限値を設定します。(39 ページ参照)
- ブレーカ電流上限設定**…蓄電池への充電時にブレーカの遮断を防止するための機能を設定します。  
(39 ページ参照)
- 契約電力上限設定**…充電時にピーク電力の発生を防止するための機能を設定します。実量制契約をしている場合に設定をおすすめします。(39 ページ参照)

以上の設定がされていることをご確認ください。



## ネットワーク設定を行う

本製品はHEMS(HEMSとは「Home Energy Management System」の略で、家庭で使うエネルギーを節約するための管理システムです。)と連携するための ECHONETLite™ 通信プロトコルを搭載しています。ネットワークに接続することにより、太陽光発電電力や蓄電池ユニットの充放電電力などの情報をHEMSに表示することができます。  
また、インターネットを通じて、ファームウェアアップデートが可能となります。

ネットワーク接続には環境に合わせて下記の設定が必要です。  
メニューボタンを押すと、設定項目が表示されます。設定方法の詳細は各参照ページをご確認ください。  
ECHONETLite™ はエコーネットコンソーシアムの商標です。

### ■ネットワーク選択設定(40 ページ)

ネットワーク接続方式のタイプ(有線LAN・無線LAN・ネットワーク無効)から選択します。  
出荷時の設定は有線LANです。  
ネットワーク無効にするとトップ画面にネットワーク接続アイコンは表示されません。

### ■無線LAN接続設定(41 ページ)

無線LAN環境でネットワーク接続を行う場合に、設定が必要です。  
無線LANをご利用になる前に必ず「使用上のお願い」(12～15 ページ)をお読みください。  
また、環境により、接続ができない場合は中継器の設置などをご検討ください。

### ■IPアドレス設定(43 ページ)

リモコン設定器のIPアドレスを設定します。  
出荷時の設定はDHCPによる自動取得です。固定IPアドレスにしたいときは設定が必要です。

# システムの運転

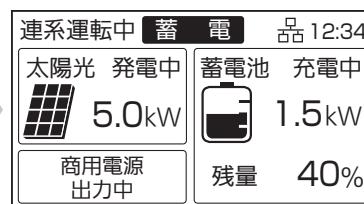
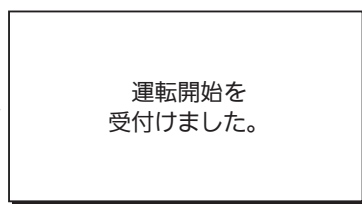
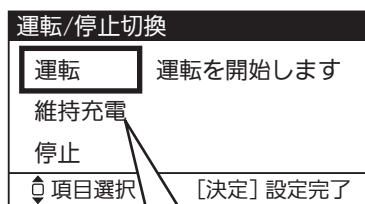
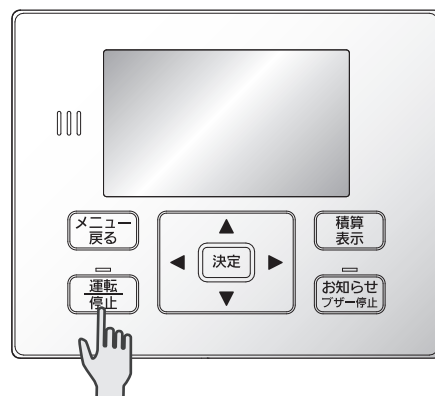
## 運転を開始する

下記の手順で運転を開始します。

1  を押す

2 「運転」を   で選択します

「運転開始を受けました」と表示され、  
トップ画面が表示されます。  
「連系運転中」となります。



太陽電池モジュールなしの場合、「維持充電」は選択できません。

(パソコン1台接続時)  
※約5分後に連系運転を開始します。

## はじめてお使いになるとき

「維持充電」設定されている場合には、施工店にご連絡をお願いします。

## 点検時の自立運転について

点検のために自立運転を行う場合には、下記の手順に従い、自立運転を開始してください。  
注意事項をご確認願います。(30 ページ参照)

### ●自立運転開始手順

1. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF(切)にしてください。
2. 32 ページに従い、操作してください。
3. パナソニック製電力切替ユニット、バックアップ用住宅分電盤に接続されるコンセントまたは、自立運転コンセントに接続している機器が使えるか、ご確認ください。

### ●自立運転停止(連系運転開始)手順

1. 33 ページに従い、操作してください。
2. 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをON(入)にしてください。

# システムの停止

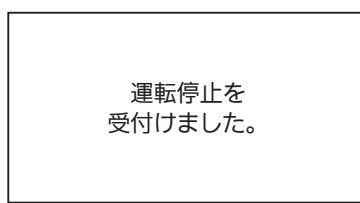
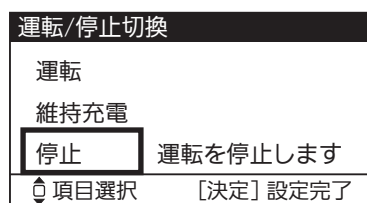
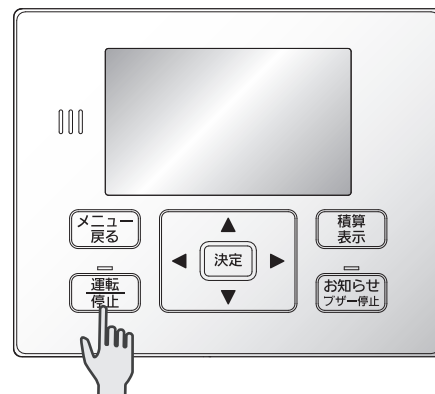
## 運転を停止するには

下記の手順で運転を停止します。

**1**  を押す

**2** 「停止」を   で選択します


「運転停止を受けました」と表示され、  
トップ画面が表示されます。  
「停止中」となります。



(パソコン1台接続時)

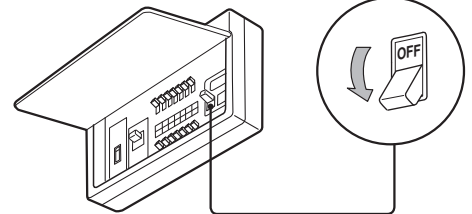
# システムの停止(つづき)

システム全体を停止したい場合は…

- リモコン設定器の  スイッチで運転を停止する
- 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカをOFF(切)にする

住宅用分電盤の  
太陽光発電システム  
専用ブレーカ

※住宅用分電盤と別置き場合があります。



お願い

- 異常時や故障時、お手入れを行う前には、必ず上記操作を行いシステム全体を停止してください。
- また、太陽光発電システム全体を停止した際、再度電源を入れる場合には必ず「はじめてお使いになるときは」の手順で再始動してください。

## ご注意

長期間、システムを停止される場合には、必ず「維持充電」運転を行ってください。

※通常使用時には設定は必要ありません。

太陽電池モジュールを接続していないシステムの場合、動作しません。




システム全体を停止すると、蓄電池に充電されなくなります。

長期間継続すると蓄電池の充電容量が減ります。

維持充電にすることで、蓄電池の残容量を40%以上になるようにします。

※太陽光からのみ充電します。商用電源からは充電しません。

1  を押す

2   を操作し、「維持充電」を選択し、 を押す

3 「維持充電」が開始されます

※運転を停止する場合には、  
選択画面で「停止」を選択してください。

運転/停止切換	
運転	太陽光から蓄電池への充電のみの運転を開始します
<b>維持充電</b>	
停止	
↑ 項目選択	[決定] 設定完了

維持充電を受付けました  
太陽光から蓄電池の  
充電のみを行います

維持運転中		品 12:34	
太陽光 発電中	蓄電池 充電中		
 1.5kW	 1.5kW		
商用電源 待機中	残量 40%		

# 積算電力の表示

合計積算発電量・積算放電量を表示させる

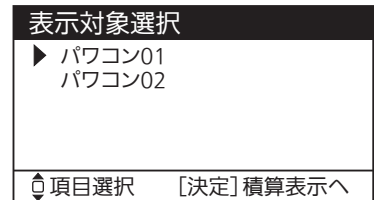
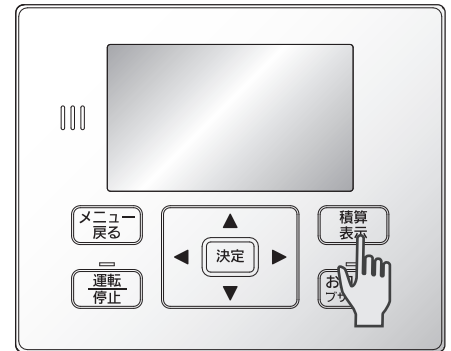
- **積算表示** を押す
- 「表示対象選択」の画面で、確認したい対象を **▲** **▼** で選択し、**決定** を押す

「積算量」の画面が表示されます。

元の画面に戻すときは **決定** または **メニュー戻る** を押します。

総積算発電量：設置時からの太陽光発電の発電量の積算を表示しています。

総積算放電量：設置時からの蓄電池ユニットの放電量の積算を表示しています。



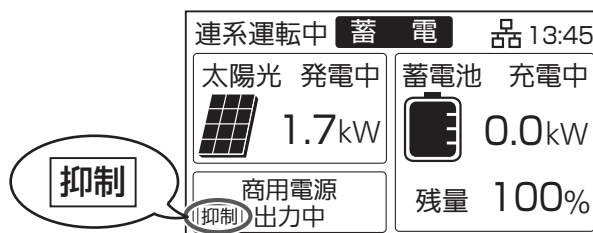
積算量		パワコン:1
総積算発電量	4709 kWh	
総積算放電量	721 kWh	
[決定] トップ画面へ		

- **メニュー戻る** を押すことで、トップ画面に戻ります。

# 連系運転時の表示について

## 電圧上昇抑制について

**抑制** と表示されたときは、電圧上昇抑制が働いています。商用電源の電圧が規定値(電力会社による指定値が設定されています)を超えないように、ハイブリッドパワコンは出力を抑制しますが、異常ではありません。商用電源の電圧が規定値内に戻れば、通常運転に戻り、**抑制**表示は消えます。頻繁に発生する場合は、商用電源側での対策が必要であるため、お買い上げの販売店または施工店、もしくは管轄の電力会社にご相談ください。

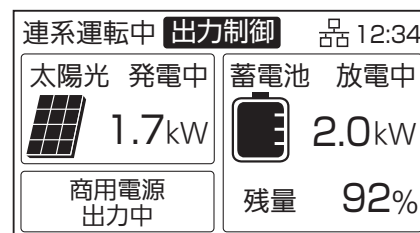
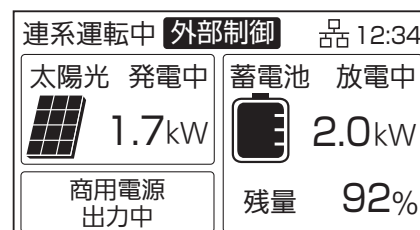


## 抑制運転中の充電

電圧上昇抑制の運転中は、太陽光発電による売電量が少なくなる可能性があります。ただし、蓄電池ユニットに空き容量があれば、売電できない発電電力を充電することができます。経済モードの放電時間帯であっても、抑制運転中の余剰電力を充電することが可能です。

## 外部制御・出力制御について

ハイブリッドパワコンは、ネットワークに接続することで、ECHONETLite™により、充放電(充電、放電、待機)の外部制御が可能です。例えば、AiSEG2のカスタム運転モード機能などを用いて、電気料金プランに連動した充放電制御をすることができます。制御中は、リモコン設定器に「外部制御」と表示されます。外部制御による充放電を停止したい場合は、HEMSコントローラーを操作するか、リモコン設定器の「運転/停止」ボタンを押して運転を停止してください。また、出力制御運転中は「出力制御」と表示されます。出力制御運転中は、売電量が少なくなる可能性がありますが、蓄電池ユニットに空き容量があれば、売電できない余剰の発電電力を充電します。経済優先モードの放電時間帯であっても、充電することができます。※外部制御と出力制御が同時に発生しているときは「出力制御」と表示されます。ECHONETLite™はエコーネットコンソーシアムの商標です。

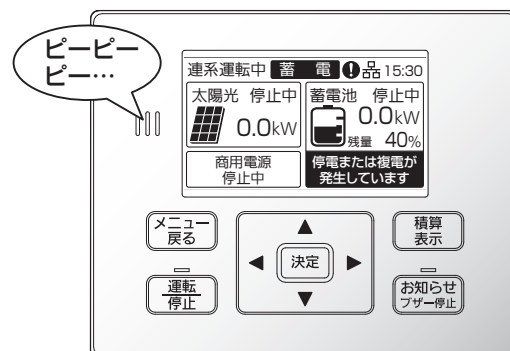


## 商用電源が停電した場合


商用電源の停電が発生すると、リモコン設定器のブザーが鳴り、停電発生のお知らせ情報が表示されます。商用電源が停電した場合、本装置は自動的に運転を停止します。商用電源が正常に戻れば5分程度で自動的に運転を再開します。

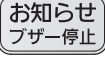
(**運転停止** を操作する必要はありません。)

停電した場合は、自立運転に切り換えることが可能です。切り換え方法は32ページをお読みください。※自立運転自動切替設定時は、本操作は不要です。





## 異常発生について




異常が発生したら、リモコン設定器でお知らせアイコン  とお知らせ情報が表示されます。

 を押すと、発生内容と点検コードが表示されます。

「こんなときは」の 56 ~ 60 ページを確認し、対応してください。

 を押すとトップ画面に戻りますが、システムの問題が解消され


るまではお知らせアイコン  が点滅表示されます。また、お知らせランプも点滅します。

連系運転中 <b>蓄電</b>  品 13:45	
太陽光 停止中  0.0kW	蓄電池 停止中  0.0kW 残量 40%
商用電源 停止中	お知らせがあります 10F101



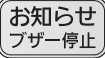
お知らせ確認	
システムの異常を検知しました。 修理窓口へご連絡ください。 10F101	
[決定] トップ画面へ	




## 蓄電池異常切り離し運転

蓄電池ユニットに異常が発生した場合、リモコン設定器のお知らせアイコン  とお知らせ情報が表示されます。

太陽光発電に影響がなければ、自動で蓄電池ユニットを切り離し、蓄電池ユニットの充電、放電をせずに、太陽光発電のみ運転を継続します。

蓄電池ユニットを 2 台接続している時に、片方の蓄電池ユニットに異常が発生した場合には、異常が発生した蓄電池ユニットのみ切り離して運転を行い、正常な蓄電池ユニットは継続運転します。

 を押すと、お知らせ情報と点検コードが表示されます。お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

連系運転中 <b>環境</b>  品 12:34	
太陽光 発電中  2.5kW	蓄電池 未接続  -.-kW 残量 ---%
商用電源 出力中	蓄電池の異常が発生しています



お知らせ確認	
蓄電池異常のため蓄電池を切り離しています。 修理窓口へご連絡ください。 11F555	
[決定] トップ画面へ	

# 連系運転について(経済モード)

運転モードの変更方法は、38 ページ「運転モード設定」をご確認ください。

夜間電力を有効に使用します

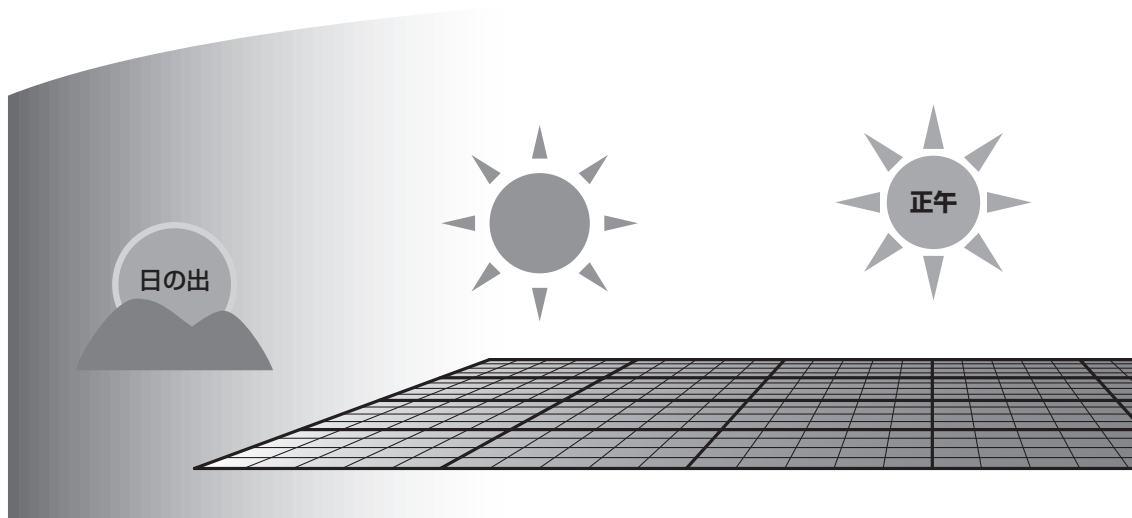


## 経済モード

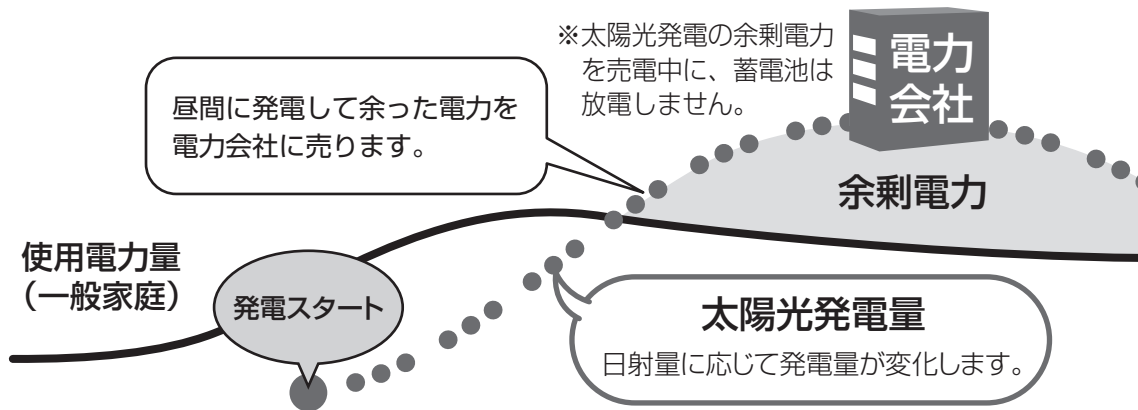
(時間帯別料金契約の場合)

電気料金の単価が安い夜間に充電して、昼間・夜間に放電することで「ピーク電力の抑制」および「買電料金の抑制」につながります。放電・充電可能な時間帯は「充放電時間帯設定」で設定します。38 ページをご確認ください。

### 太陽の状態



### 電力の状態



### 蓄電池



※充電可能な時間が短い場合や低温の場合は、満充電にならないことがあります。



### 充電可能な時間帯

### リモコン設定器画面表示(例)

連系待機中	経 済	品 05:00
太陽光 待機中 0.0kW	蓄電池 待機中 0.0kW	
商用電源 待機中	残量 100%	

満充電になると、放電開始時刻まで充放電を停止します。

連系運転中	経 済	品 10:00
太陽光 発電中 3.7kW	蓄電池 待機中 0.0kW	
商用電源 出力中	残量 100%	

太陽光発電が始まり、日射量が増えると余剰分を売電します。

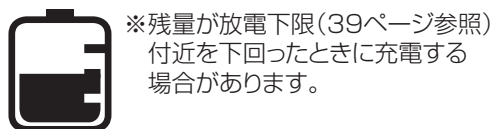
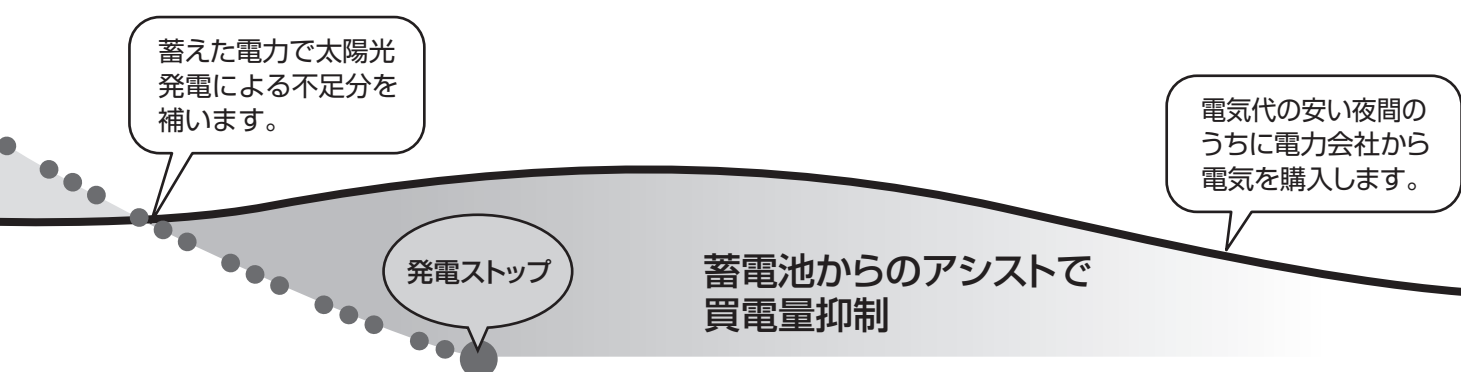
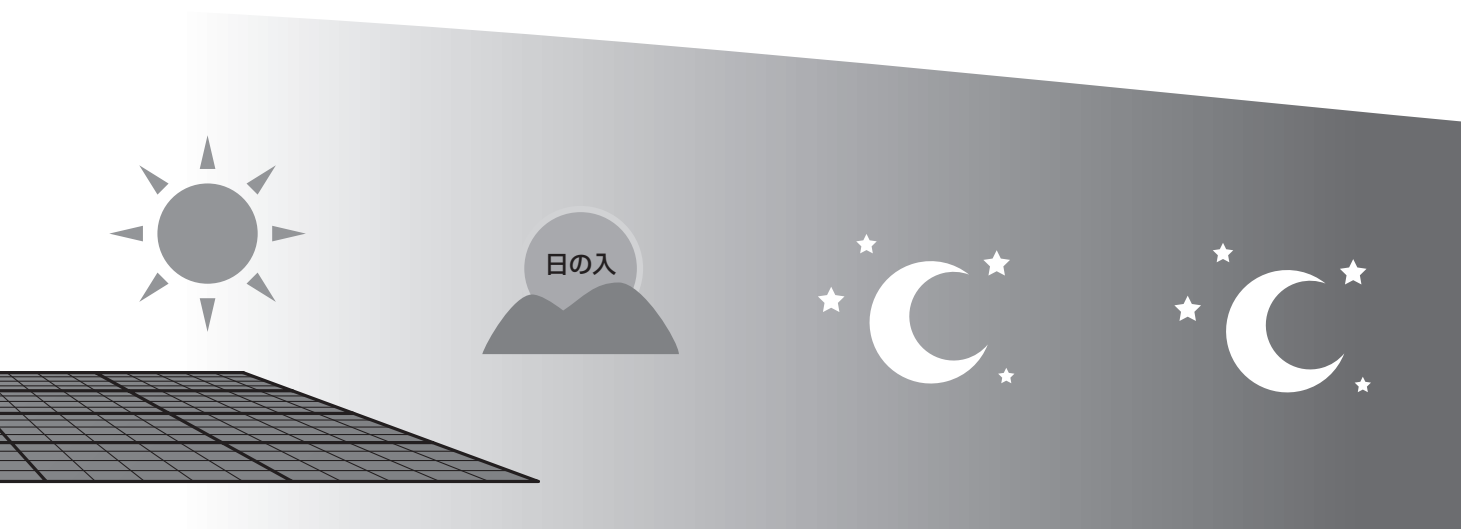
※画面の見かたについては9ページをご参照ください。



※画面に記載の数値は参考値です。

ご注意

- 経済モードで使用する場合、定期的にはリモコン設定器の日時を確認してください。日時がずれると、電気料金が高い時間帯に充電するなど、経済的な損失が発生する場合があります。
- 太陽電池モジュールが接続されていない場合は、環境モードに設定しないでください。蓄電池ユニットに充電できません。ただし、既存の太陽光発電システム(太陽電池モジュール、パワーコンディショナ)をそのままご使用される場合は、住宅用分電盤を通して蓄電池ユニットに充電するため、環境モードで運用可能です。



放電可能な時間帯

連系運転中	経済	品	17:00
太陽光 発電中	蓄電池 放電中		
1.7kW	0.0kW		
商用電源 出力中	残量 92%		

放電可能な時間帯に、太陽光発電の不足分(電力会社から購入する電力)を補うように放電します。

充電可能な時間帯

連系運転中	経済	品	00:00
太陽光 待機中	蓄電池 充電中		
0.0kW	1.5kW		
商用電源 入力中	残量 60%		

充電可能な時間に、満充電になるまで充電します。

連系待機中	経済	品	21:00
太陽光 待機中	蓄電池 待機中		
0.0kW	0.0kW		
商用電源 待機中	残量 40%		

蓄電池ユニットの残量が放電下限に近づくとき、放電を停止します。

# 連系運転について(環境モード)

運転モードの変更方法は、38 ページ「運転モード設定」をご確認ください。

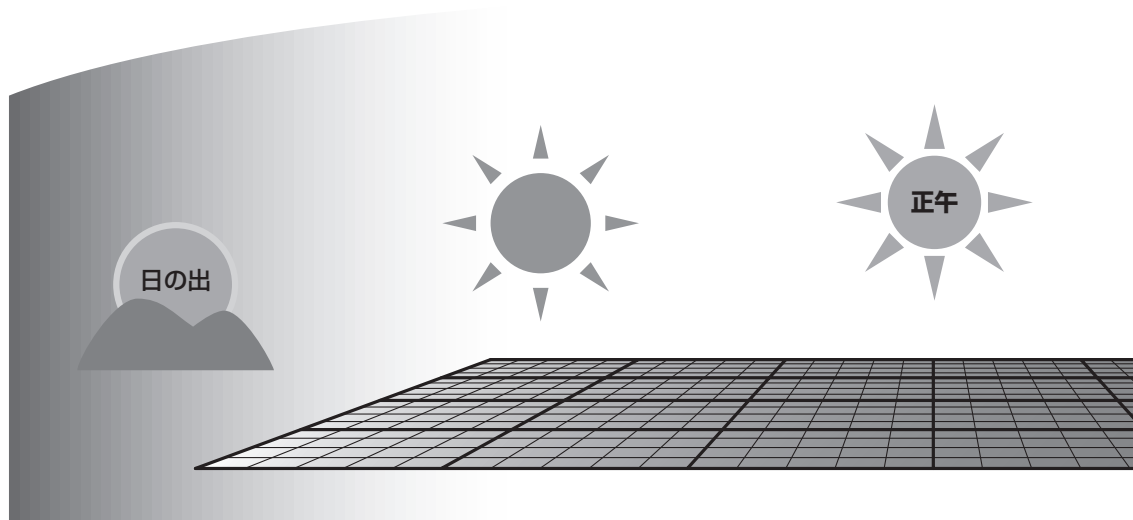
自然エネルギーを有効に  
使います



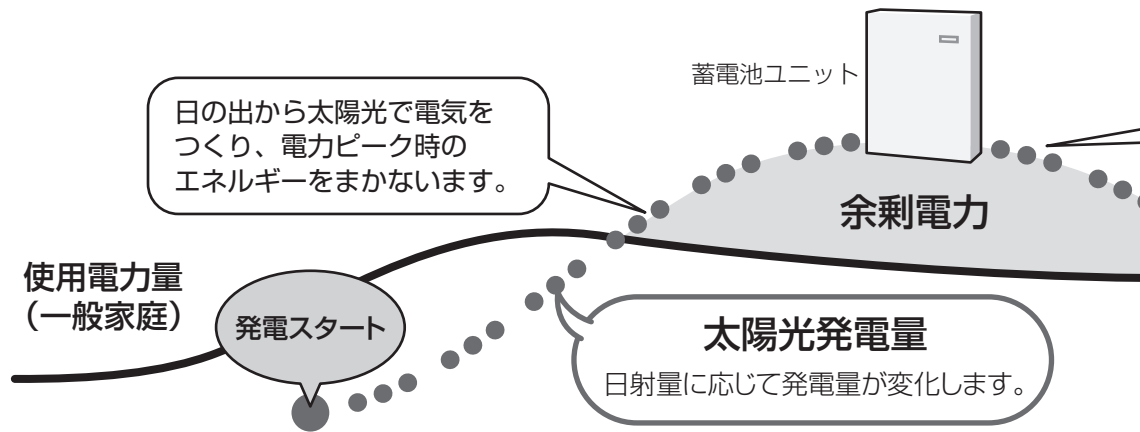
## 環境モード

昼間に太陽電池モジュールでためた電力を、夕方や夜間にも使用することで電力会社からの買電量を抑えます。

### 太陽の状態



### 電力の状態



### 蓄電池



### リモコン設定器 画面表示(例)

連系運転中 環境		品 07:00	
太陽光 発電中	蓄電池 待機中		
0.5kW	0.0kW		
商用電源 出力中	残量 40%		

日射が始まると、太陽光発電が開始します。

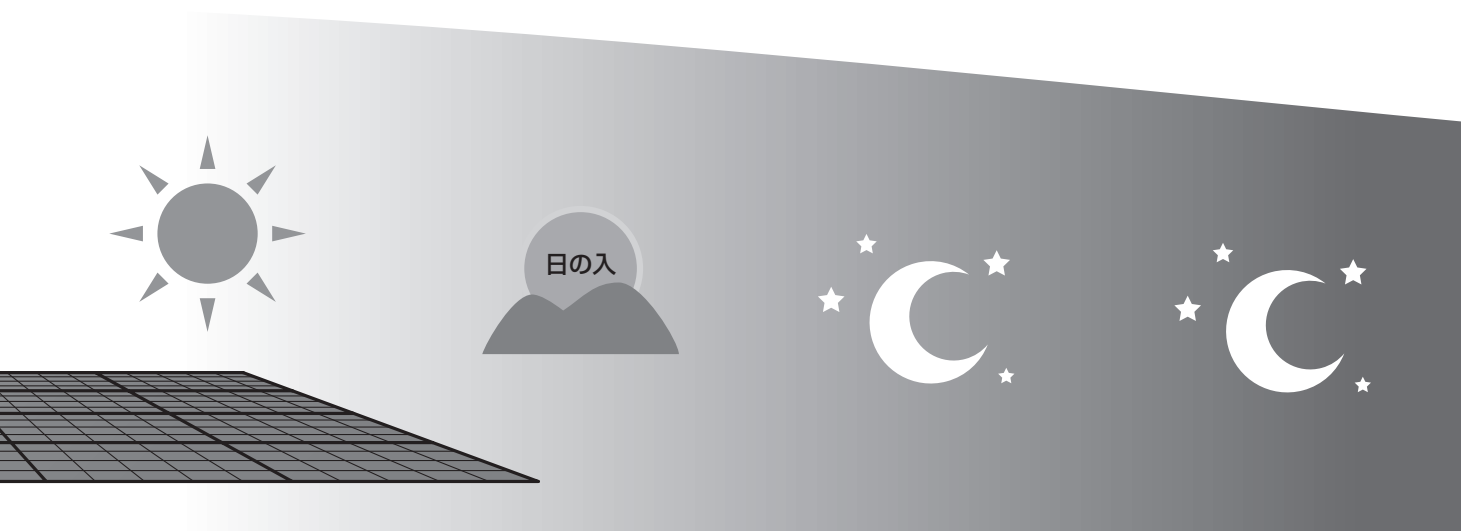
連系運転中 環境		品 12:00	
太陽光 発電中	蓄電池 充電中		
3.7kW	1.0kW		
商用電源 出力中	残量 60%		

日射量が増えると、太陽光発電の余剰分を充電します。

※画面の見かたについては9ページをご参照ください。

ご注意

- 環境モードで使用する場合、太陽光の余剰電力で蓄電池ユニットに充電するため、日射条件や機器の使用状況の変化によって充電量が変わり、満充電にならない可能性があります。



太陽光でつくった電気を使い、余った電気は蓄電池にためます。さらに余った場合は売電します。

※太陽光発電の余剰電力を売電中に、蓄電池は放電しません。

昼間にためた電気を使って、電力会社からの購入電力を抑えます。

発電ストップ

蓄電池から供給



放電

※残量が放電下限(39ページ参照)付近を下回ったときに充電する場合があります。

連系運転中 環境		品	15:00
太陽光 発電中	蓄電池 待機中		
3.7kW	0.0kW		
商用電源 出力中	残量 100%		

蓄電池ユニットが満充電になると余剰分を売電します。

連系運転中 環境		品	20:00
太陽光 待機中	蓄電池 放電中		
0.0kW	2.0kW		
商用電源 出力中	残量 70%		

日射量が減ると太陽光発電の不足分を補うように放電します。

連系待機中 環境		品	23:00
太陽光 待機中	蓄電池 待機中		
0.0kW	0.0kW		
商用電源 待機中	残量 40%		

蓄電池ユニットの残量が放電下限に近づくとき、放電を停止します。放電停止後に微量な充電をすることがあります。

# 連系運転について(蓄電モード)

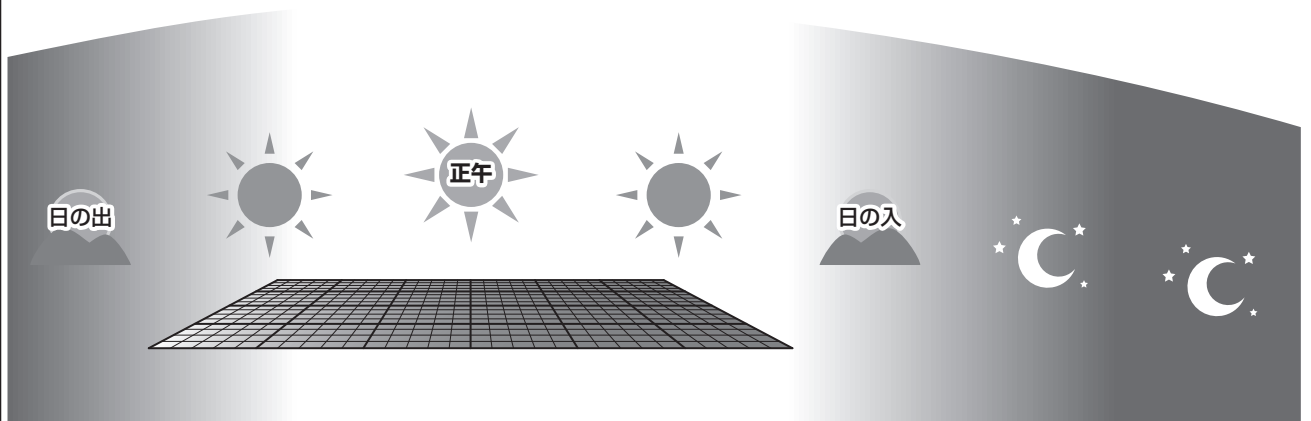
運転モードの変更方法は、38 ページ「運転モード設定」をご確認ください。

停電時に備え満充電状態を保ちます

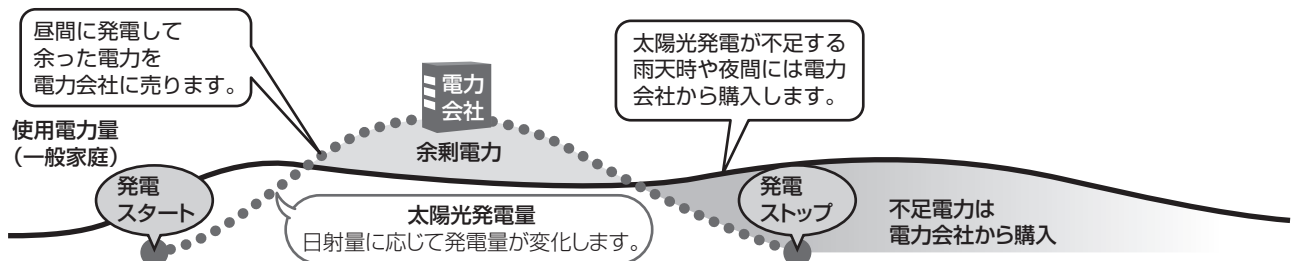
## 蓄電モード

常に蓄電池が満充電になるまで充電を行い、充電完了後は停電に備えて待機します。

太陽の状態



電力の状態



蓄電池



蓄電池ユニットが動作するための必要な電気を消費するため、減った分を常に補充します。

リモコン設定器画面表示(例)

連系運転中	蓄電	品	05:00
太陽光 発電中	蓄電池 停止中		
0.5kW	0.0kW		
商用電源 出力中	残量 100%		

日射が始まると、太陽光発電が開始します。

連系運転中	蓄電	品	20:00
太陽光 停止中	蓄電池 停止中		
0.0kW	0.0kW		
商用電源 停止中	残量 100%		

日射がなくなると、太陽光発電が停止します。

連系運転中	蓄電	品	10:00
太陽光 発電中	蓄電池 停止中		
3.7kW	0.0kW		
商用電源 出力中	残量 100%		

日射量が増えると、太陽光発電の余剰分を売電します。

自立運転から切り換わったとき			
連系運転中	蓄電	品	20:00
太陽光 停止中	蓄電池 充電中		
0.0kW	1.5kW		
商用電源 入力中	残量 32%		

自立運転から連系運転に切り換えたときなどは、時刻や日射量に関係なく、満充電になるまで充電します。

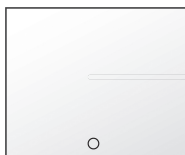
# 自立運転について

## 自立運転とは

自立運転は、停電時にハイブリッドパワコンの電力を自立運転出力回路から使用できる運転方法のことを言います。使用できる機器は、バックアップ用住宅分電盤または自立運転コンセントに接続している機器のみとなります。(パナソニック製電力切替ユニット(60 Aタイプ)用を分電盤一次側設置している場合には、通常(連系運転時)に使用している機器が使えます。)

### <パナソニック製電力切替ユニットありの場合>

バックアップ用住宅分電盤



停電時にも使用したい機器の例  
(パナソニック製電力切替ユニットなしの場合、自立運転コンセントに接続した機器は停電時のみ使用できます。)



### <パナソニック製電力切替ユニットなしの場合>

自立運転コンセント



パナソニック製電力切替ユニットを設置すると、バックアップ用住宅分電盤の配電設計により、停電時も差し換えなしで電気機器、通信機器などを使用できます。また、コンセント式でない照明器具なども使用可能です。

### ■停電時に機器を使用するためには切替操作が必要です。

- 自立運転の切替方法が、手動切替か自動切替かをご確認ください。  
詳細は「自動/手動切替設定」(48 ページ)をご確認ください。  
必ず、次ページの「自立運転を行う場合」をご理解した上でご使用願います。
- 自立運転を行う際は、必ずリモコン設定器の切替操作を行ってください。(32 ページ参照)  
ただし、自立運転を自動切替に設定した場合は、切替操作は不要です。
- パナソニック製電力切替ユニットなしの場合は、自立運転の切替方法を自動切替にしないでください。  
停電が復旧したときに、電気が流れていなかったコンセントに自動で流れ始めたり、コンセントの差し換えを忘れた場合、接続された機器に電気が流れないままになるなどのトラブルが発生するおそれがあります。

### ■パナソニック製電力切替ユニット、バックアップ用住宅分電盤に接続されるコンセントまたは自立運転コンセントを使用してください。(パナソニック製電力切替ユニット(60 Aタイプ)用を分電盤一次側設置で使用している場合は除きます)

自立運転のときは、バックアップ用住宅分電盤に接続されるコンセント、または自立運転コンセントのみご使用ください。停電時にその他のコンセントは使用できません。

### ■太陽光パワーコンディショナの停電時のお知らせ情報を解除するには

- 太陽光パワーコンディショナを接続している時に停電した場合には、お知らせ情報が表示されます。  
お知らせ情報の表示を解除するには、停止/運転操作を行ってください。(18、19 ページ参照)

# 自立運転について(つづき)

## 自立運転を行う場合

### 警告



禁止

#### ●自立運転時に給電されるコンセントに以下の電気機器をつながない

- ・全ての医療機器、防犯機器
- ・デスクトップパソコンなどの情報機器およびその周辺機器
- ・灯油やガスを用いた暖房機器、および停電から復旧したときに、自動的に運転を開始する暖房・電熱機器
- ・転倒時の安全装置がない電気ストーブや電気こたろなど電熱器具
- ・その他、電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器



蓄電池残量が不足しているときの自立出力は、天候の状態により定格容量に達しない場合があります。ハイブリッドパワコンの出力電力よりも、使用する電気機器の消費電力が大きいときは運転を停止します。途中で電源が切れると、生命や財産に損害を受けるおそれがある電気機器はご使用にならないでください。

#### ●自立運転時に給電されるコンセントには、自動で給電された場合に不安全となる可能性がある機器は接続しない(自動切換設定時)

### 注意



必ず守る

- 説明書に従って点検を実施し、ハイブリッドパワコンや自立運転時に給電されるコンセントに接続される電気機器が、安全な状態であることを確認してから自立運転を開始する(手動切換設定時)
- 自立運転開始後に、ハイブリッドパワコンや自立運転時に給電されるコンセントに接続している電気機器から発煙、異臭や異音がした場合は、直ちに自立運転を停止する

## 自立運転時のご注意

- 電気機器の中には電源投入時に大きな電流が流れるものがあります。そのときには、保護機能が働き、自立運転を停止することがあります。
- 同時に使用できる電力には限りがあります。自立運転で使用できる電力は、蓄電池の数や自立出力設定(AC 100 V/200 V)で変わります。また、ハイブリッドパワコンの運転を維持するため、約 0.1 kWの電力を消費します。太陽光発電システムで発電した電力と蓄電池ユニットの放電電力よりもバックアップ回路に接続した機器の消費電力が大きい場合、自立運転を停止します。
- 使用している機器が途中で使えなくなる場合があります。太陽光発電システムで発電した電力を使用するため、天候や蓄電池ユニットの状態の変化などで出力が不安定になることがあります。太陽光発電や蓄電池の電力が低下した場合、自動的に自立運転を停止します。
- 自立運転が自動停止した場合、使用中の電気機器を一部停止し、消費電力を小さくすると、自動的に運転を再開します。(消費電力オーバーを連続で繰り返すと、エラーの解除操作が必要になります。)
- ハイブリッドパワコンから供給される自立出力は、商用電源と完全に同一ではありません。位相制御するタイプの調光器具などは、自立出力でお使いの際に平常時と動作が異なる場合があります。例えば、調光器具の場合は、調光レベルによってちらつきが発生する場合があります。その時は調光レベルを調節して使用してください。

## 蓄電池部の自立運転

### ■自立運転による放電とその後の充電について

- 自立運転は、蓄電池残量がなくなるまで運転を行い、蓄電池残量がなくなった時に自動的に運転を停止し、使用している電気機器も停止します。  
蓄電池残量が一定残量以下になり、太陽電池モジュールからの発電がある場合には、強制的に充電を行います。  
蓄電池残量がない状態が続いた場合、蓄電池の過放電保護により、蓄電池ユニット内のブレーカがOFF(切)になり、お客様による復旧ができなくなります。復旧には、お買い上げ販売店または施工店にご連絡願います。
- 商用電源が復帰し連系運転に戻ると、選択している運転モードに従い動作します

#### ご注意

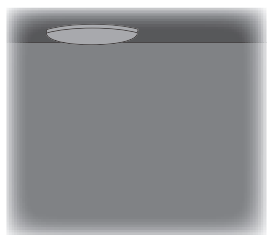
- 夜間(太陽電池モジュールが十分に発電していない状態)かつ停電時に、リモコン設定器の運転/停止切替で「停止」を選択した場合、リモコン設定器の電源が落ち、表示部も消えて、運転操作ができなくなります。リモコン設定器の電源が切れた場合、再び操作するためには、停電が復旧するか、太陽電池モジュールが発電する必要があります。

### 蓄電池部の自立運転時のご注意

- 蓄電池残量が不足しているときの自立出力電力は天候の状態により変化します。くもりや朝・夕など太陽電池モジュールの発電量が少ない場合は、使用する電気製品の消費電力によって運転できずに、機器内の保護装置が働く場合があります。保護装置が数回働くと自動的に運転を再開しなくなります。

# 自立運転について(つづき)

## 停電時(自立運転を始める)



停電になったら自立運転に切り換えます。  
※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、操作は不要です。

停電が発生するとリモコン設定器のブザーが鳴り、「自立/連系切換」画面に停電発生のお知らせが表示されます。

※操作がなければブザーは1分間で自動停止します。

5時間後に再度鳴ります。

ただし夜間の21時～7時は鳴りません。

### 1 表示画面を確認しながら、「決定」を押す

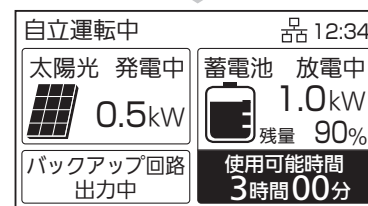
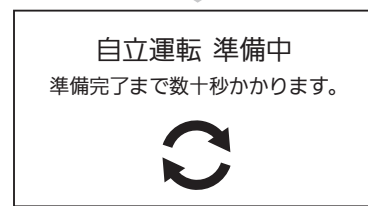
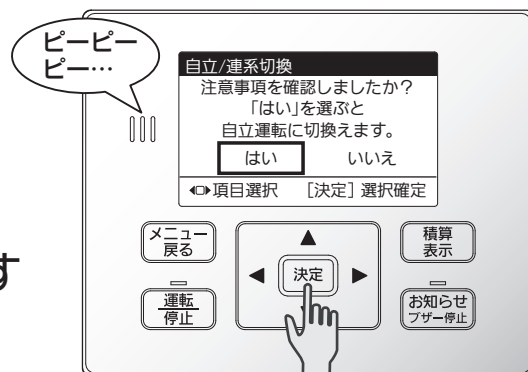
注意のメッセージを確認の上、操作してください。  
ブザーが停止し、「自立運転 準備中」になります。

### 2 「自立運転中」に切り換わることを確認する

バックアップ回路または自立運転コンセントに電気が流れ始めます。

※パナソニック製電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時にパナソニック製電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。

※パナソニック製電力切替ユニット(60 Aタイプ)を分電盤一次側設置で使用している場合、通常時(連系運転時)に使用しているコンセントから電気が流れます。自立運転時には、使用機器が多すぎると保護機能が働き、自立運転を停止することがあります。



## すぐに自立運転に切り換えたくないときは

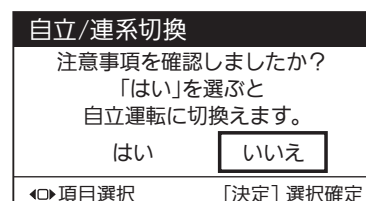
### 1 ▶ で「いいえ」を選択して「決定」を押す

「連系停止中」に切り換わり、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。

### 2 後で自立運転に切り換えたいときには

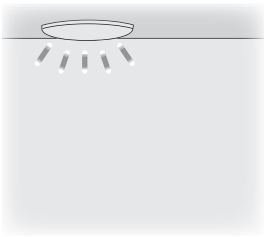
**停電または復電が発生しています**が表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。





## 停電復旧時(連系運転へ戻す)



停電が復旧したら元どおり連系運転に切り換えます。  
 ※自動/手動切換設定を「自動切換」に設定している場合には、  
 操作は不要です。

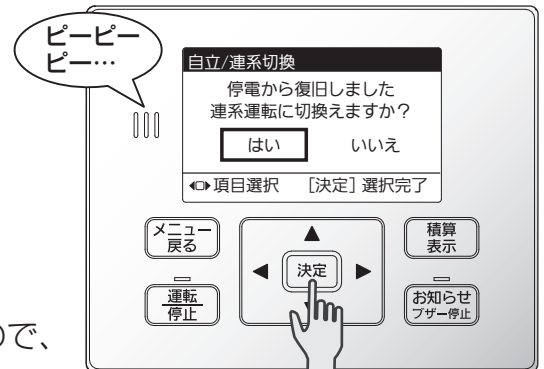
停電が復旧すると、リモコン設定器のブザーが鳴り「自立/連系切換」画面に復旧のお知らせが表示されます。

### 1 「はい」を選択して **決定** を押す

※約5分後に連系運転を開始します。

パナソニック製電力切替ユニットなしの場合、自立運転コンセントには電気が流れなくなりますので、差し換えてください。

※パナソニック製電力切替ユニットを設置している場合、切り換え時にパナソニック製電力切替ユニットから1回動作音(約85 dB)がします。



連系待機中	蓄電	品 15:30
太陽光 待機中	蓄電池 待機中	
0.0kW	0.0kW	残量 40%
商用電源 待機中	連系運転開始まで 220秒	

連系運転中	蓄電	品 15:30
太陽光 発電中	蓄電池 充電中	
0.5kW	1.5kW	残量 40%
商用電源 入力中		

### 2 復電タイマー表示後、「連系運転中」に切り換わることを確認する

※復電タイマーの時間は、電力会社が定める整定値の設定によって異なります。

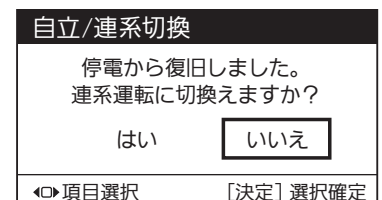
※停電復旧からしばらくして、連系運転に切り換えると、復電タイマーが表示されないことがあります。

## すぐに連系運転に切り換えたくないときは

### 1 ▶ で「いいえ」を選択して **決定** を押す

「自立運転中」のまま、お知らせアイコン❗と、「停電または復電が発生しています」が表示されます。

※この状態では太陽光発電電力の売電はできません。できる限り早く連系運転に切り換えてください。



### 2 後で連系運転に切り換えたいときには

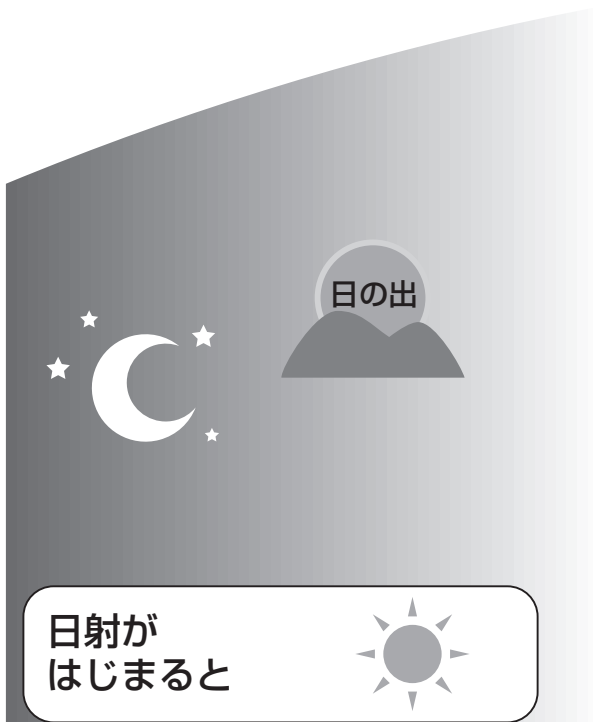
**停電または復電が発生しています** が表示されている時に **お知らせブザー停止** を押す

「自立/連系切換」画面(右上の画面)に戻ります。

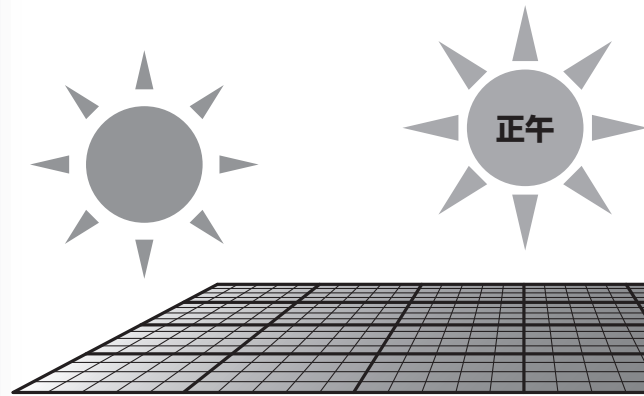
自立運転中	品 15:30
太陽光 発電中	蓄電池 放電中
0.5kW	1.0kW
バックアップ回路 出力中	残量 40%
	停電または復電が発生しています

# 自立運転時の動き

## 太陽の状態



日射が  
はじまると



日射量が  
増えたとき



## 画面

自立運転中	品 07:00
太陽光 発電中 1.0kW	蓄電池 放電中 0.9kW 残量 24%
バックアップ回路 出力中	使用可能時間 1時間05分

日射がはじまると、発電電力による供給もできるようになります。

蓄電池ユニットの  
残量が0%(日射あり)



自立運転中	品 10:00
太陽光 発電中 1.5kW	蓄電池 充電中 1.5kW 残量 3%
バックアップ回路 停止中	蓄電池残量が 低下しています

蓄電池ユニットの残量が低下した時、一定残量まで充電します。一定残量になると電力の供給を開始します。

自立運転中	品 10:00
太陽光 発電中 2.7kW	蓄電池 充電中 1.4kW 残量 21%
バックアップ回路 出力中	使用可能時間 —時間—分

日射量が増えると、太陽光発電の余剰分を充電します。

消費電力  
オーバーのとき

使い  
すぎ

### お知らせ確認

保護のため一時的に  
システムを待機しております。  
しばらくお待ちください。

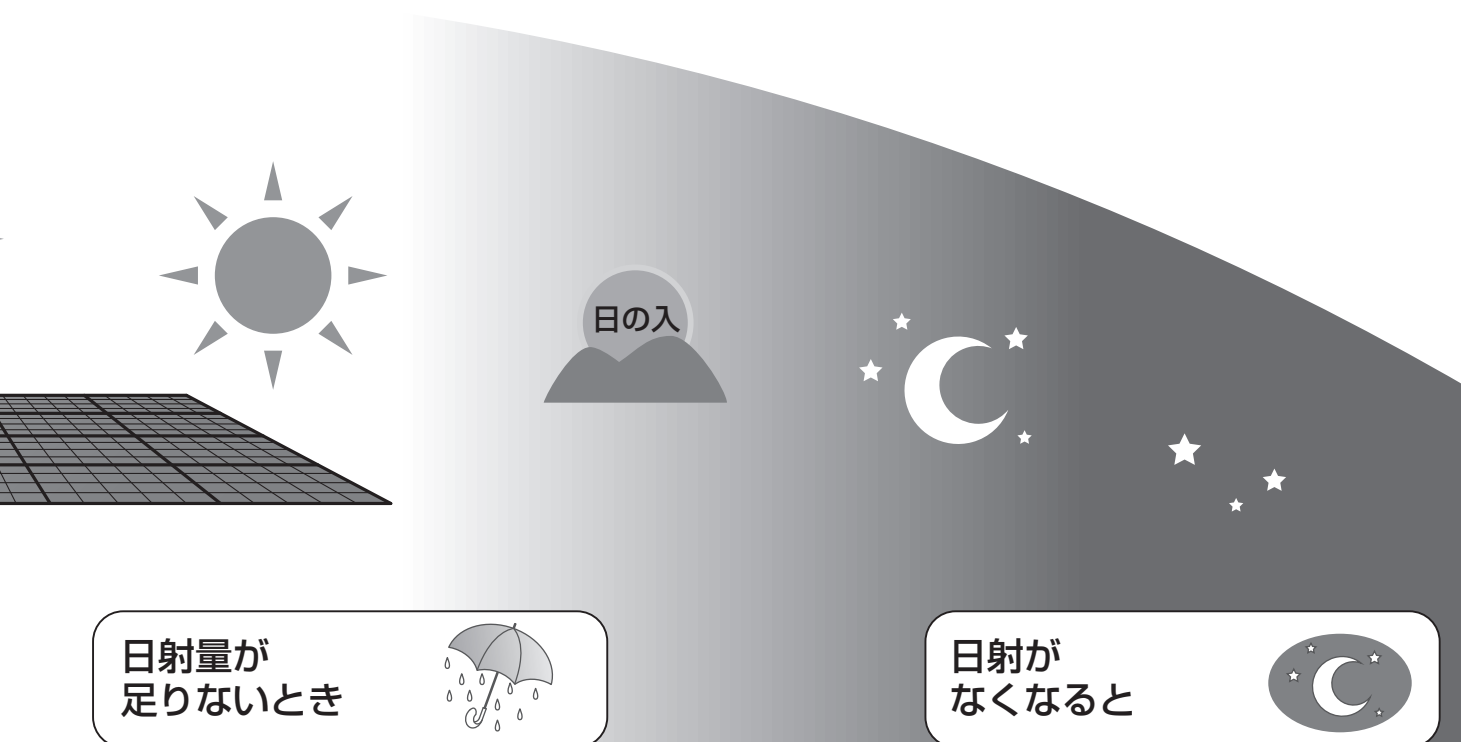
11P157

[決定] トップ画面へ

消費電力が出力可能な電力より大きいと、運転を一時停止し、自動的に再度自立運転を行います。使用機器を減らしてください。  
※多数回くり返すと...

機器保護のため、点検コード「U157」を表示し運転を停止します。お知らせ  
フザー停止 を押すことで

フザー音が停止します。発生内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。



**日射量が足りないとき**

自立運転中	品 17:00
太陽光 発電中 0.5kW	蓄電池 放電中 1.0kW 残量 92%
バックアップ回路 出力中	使用可能時間 <b>3時間25分</b>

日射量が足りないときは、太陽光発電の不足分を補うように蓄電池ユニットから放電します。

**電気の使用可能時間の目安**

り	残量 92%	蓄電池ユニットの放電によって現時点で使っている電気機器をそのまま使い続けた場合の電気使用可能時間の目安です。発電電力や使用する電気機器が変われば時間も変化します。
助中	使用可能時間 <b>3時間25分</b>	

**さらに残量がなくなると**

蓄電池ユニットの残量がなくなると、電力の供給ができなくなり、リモコン設定器が消灯します。太陽光発電が再開すると、自動的に運転を開始し、表示が回復します。過放電防止のため、自動的に充電を開始します。

**日射がなくなると**

自立運転中	品 21:00
太陽光 停止中 0.0kW	蓄電池 放電中 1.5kW 残量 48%
バックアップ回路 出力中	使用可能時間 <b>1時間05分</b>

日射がなくなると、蓄電池ユニットの放電だけで電力を供給します。

**蓄電池ユニットの残量が10%**

残量が10%以下になるとリモコン設定器が、お知らせ情報の表示とブザー音「ピピピピ」でお知らせします。

**お知らせブザー停止** を押し、ブザーを止めてください。

機器の使用をひかえてください。

そのままご使用になると、自立運転を自動的に停止し、使用している電気機器も停止します。  
※電源がON（入）になったまま停止した電気機器は、発電開始時に自動的に電源がON（入）になるものもありますので、ご注意ください。

# 設定・確認のしかた

## 設定のしかた

設定は下記のように進めてください。  
例として、日時設定の方法を示しています。

### 1 トップ画面で **メニュー戻る** を押す

「メニュー (1/3、2/3、3/3)」画面が表示されます。

### 2 **▲ ▼** でメニューを選択する

### 3 **決定** を押す

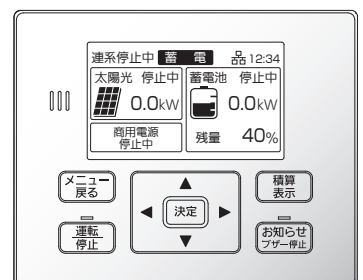
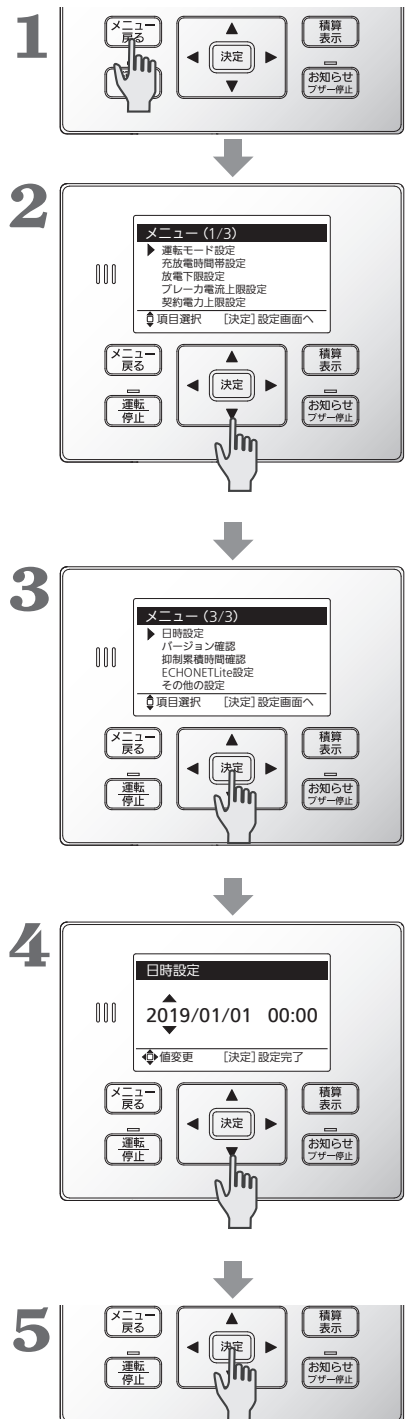
選択したメニューの画面が表示されます。

### 4 各画面において **◀ ▶ ▲ ▼** で設定する

### 5 **決定** で登録し、設定画面に戻る

## トップ画面に戻るときは

- **メニュー戻る** を押すことで、トップ画面に戻ります。

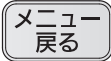




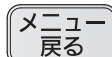


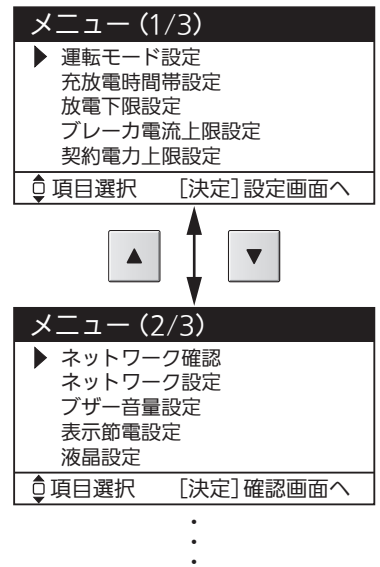
## 各設定の一覧

設定項目	機能説明	ページ
運転モード設定	連系運転時の運転モードを設定します。 出荷時の設定は「蓄電モード」です。	38
充放電時間帯設定	経済モードで、運転するために必要な蓄電池ユニットの充電・放電を行う時間帯を設定します。 出荷時の設定は 「充電時間 02:00 - 07:00 放電時間 10:00 - 22:00」です。	38
放電下限設定	経済モード、環境モードで、自動的に運転するために必要な設定です。 出荷時の設定は「40%」です。	39
ブレーカ電流上限設定	充電時にブレーカの遮断を防止するための機能です。 出荷時の設定は「無効」です。	39
契約電力上限設定	充電時にピーク電力の発生を防止するための機能です。 出荷時の設定は「無効」です。	39
ネットワーク確認	リモコン設定器のネットワーク設定状態を確認します。	40
ネットワーク設定	ネットワーク設定メニューを表示します。	40
ネットワーク選択設定	ネットワークの有無、有線LAN/無線LANを選択します。	40
無線LAN接続設定	無線LANで接続する場合の設定を行います。	41
IPアドレス設定	IPアドレスの設定を行います。	43
ネットワーク設定初期化	ネットワークの設定状態を出荷時の設定に戻します。	44
ブザー音量設定	お知らせ発生時などのブザー音量を設定します。 出荷時の設定は「小」です。	44
表示節電設定	設定した時間、操作がなければ自動で画面のバックライトが消灯されます。 出荷時の設定は「1分後消灯」です。	44
液晶設定	液晶画面の明るさとコントラストを設定します。 出荷時の設定は、明るさ：10、コントラスト：15です。	45
日時設定	リモコン設定器の日時を設定します。 ※外部制御中に日時設定の変更はできません。 外部制御が終了後、実施してください。	45
バージョン確認	リモコン設定器のバージョン情報を確認します。	45
抑制累積時間確認	抑制運転の累積時間を確認します。	46
ECHONETLite設定	ECHONETLite設定をします。	46
その他の設定	その他の設定(出力制御)の設定をします。	47
出力制御	出力制御の設定をします。	47
スケジュール確認	出力制御の予定(経過分含む)を確認します。	47
発電量確認	発電量を確認します。	48
出力制御設定	出力制御設定を行います。 ※設定は、お客様ではできません。お買い上げの販売店または施工店もしくはメーカーサービスマンにて設定を行います。	48
自動/手動切替設定	停電時、および停電復旧時に自立運転や連系運転に切り換える方法を設定します。	48

# 設定・確認のしかた(つづき)




## ■メニュー

- ① トップ画面で  を押す  
「メニュー (1/3)」画面が表示されます。  
(カーソル)が最下行のとき  で次画面の  
「メニュー (2/3)」、「メニュー (3/3)」と切り換わります。
- ②   でメニューを選択する
- ③  を押す  
選択したメニューの画面が表示されます。  
※選択したメニューの画面で  を押すと操作はキャンセルとなり、  
メニュー画面に戻ります。



## ■運転モード設定






連系運転時の運転モードを設定します。運転モードは経済/環境/蓄電から選択できます。出荷時の設定は「蓄電モード」です。各モードの動作については 24 ~ 28 ページを確認してください。※外部制御中に運転モードの変更はできません。外部制御が終了後、実施してください。

- ①   で運転モードを選択する
- ②  を押す  
選択された運転モードに変更され、「設定を受けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



## ■充放電時間帯設定

経済モードで、運転するために必要な蓄電池ユニットの充電・放電が可能な時間帯を設定します。出荷時の設定は、充電時間 2:00 ~ 7:00、放電時間 10:00 ~ 22:00 です。電力会社と契約している時間帯別料金に合わせて、電気代が安い時間帯に充電の開始時間~終了時間を、電気代が高い時間帯に放電の開始時間~終了時間を設定してください。ただし、同じ時間帯に充電時間帯と放電時間帯を設定することはできません。※充電時間帯が短く設定された場合は満充電にならないことがあります。充電量および、充電が完了する時間は変動することがあります。

- ①   で変更する時間を切り換える
- ②   で時間の数値を変更する  
(時: 1 時間単位、分: 10 分単位)
- ③  を押す  
設定された時間帯に変更され、「設定を受けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



## ■放電下限設定

経済モード、環境モードで、充放電範囲での運転をするために必要な設定です。設定値付近になるまで蓄電池ユニットの放電が可能です。(50 ページ参照)出荷時の設定は、「40%」です。

放電下限設定値(停電時に備える容量)を減らすと、平常時に活用できる蓄電池ユニットの電力が増え、設定値を増やすと停電時に備える蓄電池ユニットの電力が増えます。

※蓄電池ユニットを複数台接続し、蓄電池残量が低い蓄電池がある場合、運転モードに関わらず充電動作を行う場合があります。

① ▲ ▼ で放電下限設定値を変更する

② 決定 を押す

選択された放電下限設定値に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

放電下限設定	
蓄電池放電下限 (10%~70%)	
▲ 40 % ▼	
値変更	[決定] 設定完了

## ■ブレーカ電流上限設定

充電時にブレーカの遮断を防止するための機能です。蓄電池への充電時間帯にブレーカの遮断が発生する場合は値を見直してください。設定値を超えないように、充電電力を制御します。出荷時の設定は「無効」です。「有効」に設定した場合の初期値は、「60 A」です。

① ◀ ▶ でブレーカ電流上限設定を行うか(有効)

行わないか(無効)を選択する

② 決定 を押す

「無効」選択時は「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

③ ▲ ▼ でブレーカ電流上限設定値を変更する

5 A刻みで設定ができます。

④ 決定 を押す

設定された電流値に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

ブレーカ電流上限設定	
ブレーカ電流上限設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
◀ 項目選択	[決定] 設定完了

ブレーカ電流上限設定	
ブレーカ電流上限 (15A~100A)	
▲ 60 A ▼	
値変更	[決定] 設定完了

## ■契約電力上限設定

※実量制の電気料金契約向けの設定です。

充電時にピーク電力の発生を防止するための機能です。充電時間帯に、ピーク電力が発生している場合に設定してください。設定値は契約電力以下にしてください。設定値を超えないように、充電電力を制御します。出荷時の設定は「無効」です。「有効」に設定した場合の初期値は、「4.0 kW」です。

① ◀ ▶ で契約電力上限設定を行うか(有効)

行わないか(無効)を選択する

② 決定 を押す

「無効」選択時は「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

③ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

④ ▲ ▼ で契約電力上限値を変更する

⑤ 決定 を押す

設定された電力値に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

契約電力上限設定	
契約電力上限設定	
<input checked="" type="checkbox"/> 有効	<input type="checkbox"/> 無効
◀ 項目選択	[決定] 設定完了

契約電力上限設定	
契約電力上限 (1.0kW~99.9kW)	
▲ 4.0kW ▼	
値変更	[決定] 設定完了

# 設定・確認のしかた(つづき)

## ■ネットワーク確認

リモコン設定器のネットワーク設定状態を確認します。  
※「ネットワーク選択」の設定により、表示は変わります。

### ① 設定状態を確認する

#### ■有線LAN設定時

ネットワーク確認:有線	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定]メニューへ	

#### ■無線LAN設定時

ネットワーク確認:無線(1/2)	
簡単設定	有効
SSID	xxxx
認証方式	—
暗号化方式	—
↑ページ切換	[決定]メニューへ

#### ■ネットワーク無効設定時

ネットワーク確認
ネットワークは無効です。
[決定]メニューへ

ネットワーク確認:無線(2/2)	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
↑ページ切換	[決定]メニューへ

### ② 「無線LAN」に設定されているときは ▲ ▼ で画面を切り換える

### ③ [決定] を押す

メニュー画面に戻ります。

## ■ネットワーク設定

ネットワーク設定メニューを表示します。  
※起動時など、IPアドレス自動取得中は、ネットワーク設定の変更はできません。  
しばらく待ってから実施してください。

### ① ▲ ▼ でネットワーク設定メニューを選択する

### ② [決定] を押す

選択したメニューの画面が表示されます。

ネットワーク設定メニュー
▶ ネットワーク選択設定 無線LAN接続設定 IPアドレス設定 設定初期化
↑項目選択 [決定]設定画面へ

## □ ネットワーク選択設定

ネットワークに接続するかしないか、する場合は有線LANか無線LANかの方式を選択します。  
※出荷時の設定は有線LANです。

### ① ▲ ▼ でネットワークの接続方式を選択する

### ② [決定] を押す

設定された方式に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

ネットワーク選択設定
有線LAN
無線LAN
ネットワーク無効
↑項目選択 [決定]設定完了



## □ 無線LAN接続設定

無線LANで接続する場合の設定を行います。  
※出荷時の設定は「簡単設定」です。

① ▲ ▼ で設定方式を選択する

② 決定 を押す

「簡単設定」を選択→ ③ へ進みます。

「手動設定」を選択→ ⑤ へ進みます。

③ メッセージを確認し、決定 を押す

「接続処理中」メッセージ表示後、接続完了画面が表示されます。  
接続に失敗した場合は、無線LANの環境を確認し、再度実施してください。

④ メッセージを確認し、決定 を押す

「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

### 【SSID設定】

出荷時の設定は「123」です。  
変更するときは「←」を選択して設定文字を削除してから、設定してください。

⑤ メッセージを確認し、決定 を押す

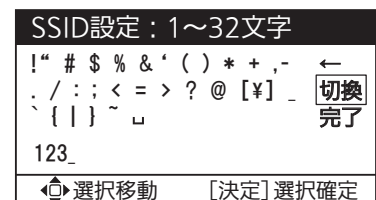
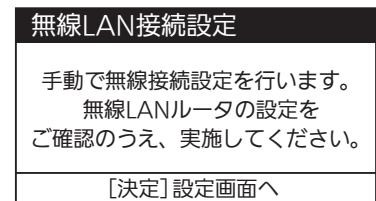
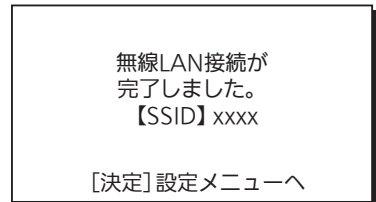
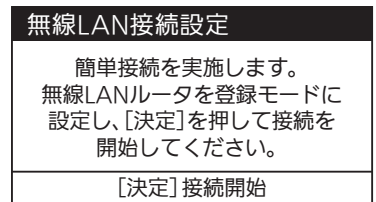
⑥ ◀ ▶ ▲ ▼ で、SSIDの文字を選択する

⑦ 決定 を押す

選択した文字が画面下部に追記表示されます。  
「←」を選択すると、画面下部に表示されている文字を1文字削除します。  
「切換」を選択すると、選択する文字種を切り換えます。

⑧ 「完了」を選択し、決定 を押す

画面下部に表示された文字がSSIDとして登録され、「認証方式設定」画面が表示されます。



# 設定・確認のしかた(つづき)

## 【認証方式設定】

⑨ ▲ ▼ で認証方式を変更する

⑩ 決定 を押す

認証方式が変更され、「暗号化方式設定」画面が表示されます。

認証方式設定	
WPA/WPA2 Mixed	
WPA2	
項目選択	[決定] 次へ

## 【暗号化方式設定】

⑪ ▲ ▼ で暗号化方式を変更する

⑫ 決定 を押す

暗号化方式が変更され、「パスワード入力方法」画面が表示されます。

暗号化方式設定	
TKIP/AES	
AES	
TKIP	
項目選択	[決定] 次へ

## 【パスワード設定】

⑬ ▲ ▼ でパスワード入力方法を選択する

⑭ 決定 を押す

「パスワード」画面が表示されます。

⑮ ◀ ▶ ▲ ▼ で、パスワードの文字を選択する

⑯ 決定 を押す

選択した文字が画面下部に追記表示されます。

「←」を選択すると、画面下部に表示されている文字を1文字削除します。「切換」を選択すると、選択する文字種を切り換えます。認証方式別、パスワードの文字数条件は以下のとおりです。

文字列：8～63文字で設定してください。

16進数：64桁で設定してください。

パスワード入力方法	
文字列	
16進数	
項目選択	[決定] 設定画面へ

パスワード設定：8～63文字	
←	切換
A B C D E F G H I J K L M	
N O P Q R S T U V W X Y Z	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	完了
—	
選択移動	[決定] 選択確定

パスワード設定：8～63文字	
←	切換
a b c d e f g h i j k l m	
n o p q r s t u v w x y z	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	完了
—	
選択移動	[決定] 選択確定

パスワード設定：8～63文字	
←	切換
! " # \$ % & ' ( ) * + , -	
. / : ; < = > ? @ [ ¥ ] _	
` {   } ~ `	完了
—	
選択移動	[決定] 選択確定

パスワード設定：64桁(16進数)	
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F	← 完了
—	
選択移動	[決定] 選択確定

⑰ 「完了」を選択し、決定 を押す

パスワードが設定され、「無線LAN接続設定」画面が表示されます。

⑱ 決定 を押す

無線LAN接続設定が登録され、「ネットワーク設定メニュー」画面が表示されます。

無線LAN接続設定	
簡単設定	無効
SSID	xxxx
認証方式	WPA/WPA2
暗号化方式	TKIP/AES
[決定] 設定完了	

## □ IPアドレス設定

IPアドレスの設定を行います。

※出荷時の設定(自動取得(DHCP有効))でご利用する場合は設定不要です。

① ▲ ▼ で設定方式を選択する

② 決定 を押す

「有効」を選択→ ③ へ進みます。

「無効」を選択→ ④ へ進みます。

### 【DHCP設定】

③ メッセージを確認し、 決定 を押す

「アドレス取得中」メッセージ表示後、IPアドレス設定画面が表示されます。→ ⑬ へ進みます。

接続に失敗した場合は、ネットワークの環境を確認し、再度実施してください。

### 【固定IPアドレス手動設定】

④ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑤ ▲ ▼ で、IPアドレスを変更する

⑥ 決定 を押す

IPアドレスが設定され、サブネットマスク設定画面が表示されます。

⑦ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑧ ▲ ▼ で、サブネットマスクを変更する

⑨ 決定 を押す

サブネットマスクが設定され、デフォルトゲートウェイ設定画面が表示されます。

⑩ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑪ ▲ ▼ で、デフォルトゲートウェイを変更する

⑫ 決定 を押す

デフォルトゲートウェイが設定され、DNSサーバ設定画面が表示されます。

IPアドレス設定	
自動取得 (DHCP有効)	
手動設定 (DHCP無効)	
項目選択	[決定] 設定画面へ

IPアドレス設定	
DHCPでIPアドレスを自動取得します。[決定]を押して取得を開始してください。	
[決定] 取得開始	

IPアドレス設定	
DHCP	有効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定] 設定メニューへ	

IPアドレス設定 (1/4)	
IPアドレス	
▲ 192.168.001.010 ▼	
値変更	[決定] 次へ

IPアドレス設定 (2/4)	
サブネットマスク	
▲ 255.255.255.000 ▼	
値変更	[決定] 次へ

IPアドレス設定 (3/4)	
デフォルトゲートウェイ	
▲ 192.168.001.010 ▼	
値変更	[決定] 次へ

# 設定・確認のしかた(つづき)

⑬ ◀ ▶ で変更する桁を切り換える

⑭ ▲ ▼ で、DNSサーバのアドレスを変更する

⑮ **決定** を押す

DNSサーバが設定され、「IPアドレス設定」画面が表示されます。

⑯ IPアドレス設定内容を確認し、**決定** を押す

「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

IPアドレス設定 (4/4)	
DNSサーバアドレス	
▲	192.168.001.010
▼	
◀▶ 値変更	[決定] 確認画面へ

IPアドレス設定	
DHCP	無効
IPアドレス	192.168.001.010
サブネット	255.255.255.000
ゲートウェイ	192.168.001.001
DNSサーバ	192.168.001.001
[決定] 設定完了	

## □ ネットワーク設定初期化

ネットワークの設定状態を出荷時の設定に戻します。

① 「はい」を選択し、**決定** を押す

初期化処理中のメッセージが表示されます。(最大 1 分)

ネットワークの設定が工場出荷状態に戻され、「設定を受付けました。」

メッセージ表示後、「ネットワーク設定メニュー」画面に戻ります。

ネットワーク設定初期化	
ネットワークの設定を 工場出荷状態に戻します。 初期化を実施しますか?	
<b>はい</b>	いいえ
◀▶ 項目選択	[決定] 選択確定

## ■ ブザー音量設定

お知らせ発生時などのブザー音量を設定します。出荷時の設定は「小」です。

① ▲ ▼ でブザー音量を選択する

② ブザー音量を選択した状態で、▶ を押す

設定した音量の「ピッ」というブザー音が試聴できます。

③ **決定** を押す

選択されたブザー音量に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

ブザー音量設定	
大	
中	
<b>小</b>	▶ で試聴
切	
◀▶ 項目選択	[決定] 設定完了

## ■ 表示節電設定

設定した時間、操作がなければ自動で画面のバックライトが消灯されます。出荷時の設定は「1 分後消灯」です。

① ▲ ▼ で消灯までの時間を選択する

② **決定** を押す

選択された表示節電設定に変更され、「設定を受付けました。」

メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

表示節電設定	
10 秒後消灯	
<b>1 分後消灯</b>	
10 分後消灯	
◀▶ 項目選択	[決定] 設定完了

## ■液晶設定

液晶画面の明るさとコントラストを設定します。出荷時の設定は、明るさ：10、コントラスト：15です。

- ① ▲ ▼ で変更する項目を切り換える
- ② ◀ ▶ で段階を変更する  
※デフォルトは明るさ「10」、コントラスト「15」

液晶設定	
明るさ (1~10)	◀ 10 ▶
コントラスト (1~30)	15
◀▶ 値変更	[決定] 設定完了

- ③ 決定 を押す

設定された明るさとコントラストに変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。

## ■日時設定

リモコン設定器の日時を設定します。  
出力制御が設定されている場合には、10分範囲で設定ができます。

- ① ◀ ▶ で変更する年・月・日・時・分を切り換える
- ② ▲ ▼ で数値を変更する  
(1年・1月・1日・1時・1分単位)

日時設定	
▲ 2019/01/01 00:00 ▼	
◀▶ 値変更	[決定] 設定完了

- ③ 決定 を押す

設定された日時に変更され、「設定を受付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。  
※外部機器を接続している場合、日時情報は外部機器の日時が自動的に同期されます。

出力制御設定ありの場合

時刻調整	
1日につき±10分の範囲 で調整できます。	
現在時刻 09:00	+ ▲ 5分 ▼
◀▶ 値変更	[決定] 設定完了

## ■バージョン確認

リモコン設定器のバージョン情報を確認します。

- ① バージョン情報を確認する

- ② メニュー戻る を押す  
メニュー画面に戻ります。

バージョン確認	
ファームウェア(NA)	1.00
ファームウェア(RC)	2.00
ファームウェア(出力)	3.00
MACアドレス(有線)	1234567890AB
MACアドレス(無線)	0987654321CD
[決定] 更新確認へ	

### □ファームウェアの更新確認

- ① バージョン確認画面で 決定 を押す  
ファームウェア更新ファイルがなければメッセージを確認し、決定 を押してメニューに戻ります。

更新ファイルなし

ご使用のファームウェアは 最新のバージョンです。 更新の必要はありません。
[決定] メニューへ

更新ファイルあり

ファームウェア更新	
最新のファームウェアが あります。ファームウェアの 更新を実施します。	
はい	いいえ
◀▶ 項目選択	[決定] 選択確定

- ② 「はい」を選択し、決定 を押す  
「いいえ」を選択すると、メニュー画面に戻ります。

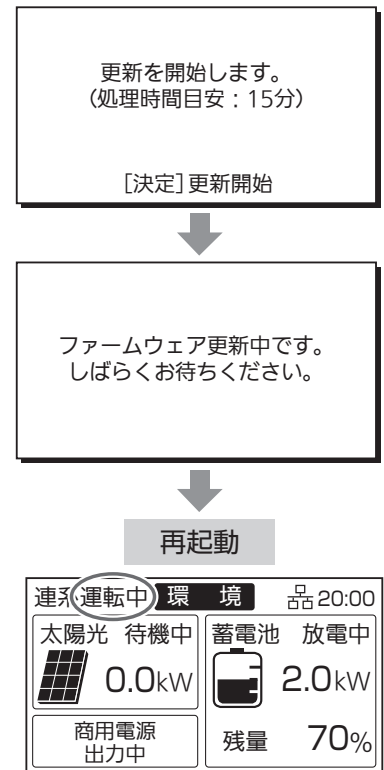
# 設定・確認のしかた(つづき)

- ③ メッセージを確認し、**決定** を押す

お知らせランプが赤点灯し、運転停止後ファームウェアの更新を開始します。更新が終了すると、お知らせランプが消灯します。自動でリモコン設定器は再起動しトップ画面に戻ります。

## ご注意

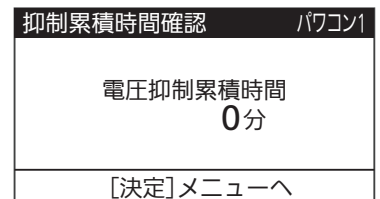
- 更新中は内部処理をしていますので、故意に電源を切らないでください。
- 処理時間目安は更新するファームウェアの内容によって変化します。
- 再起動時はトップ画面に戻ります。運転状態を確認してください。
- ファームウェア更新に失敗すると**お知らせランプが赤点滅**します。その場合は、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。



## ■抑制累積時間確認

電圧上昇抑制運転を行った累積時間を確認します。

- ① 確認するハイブリッドパワコンを選択する
- ② **決定** を押し、確認する
- ③ **決定** を押す  
メニュー画面に戻ります。

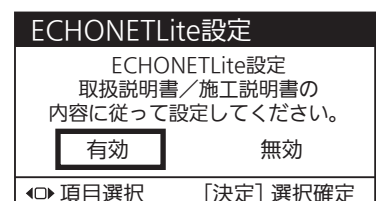


## ■ECHONETLite設定

HEMSと連携するためにECHONETLite™通信を行います。電力検出ユニット(SPW276-SN)と接続しているときは、SPW276-SNがHEMSと通信を行うため、ハイブリッドパワコンのECHONETLite™通信機能を無効に設定します。接続する機器によって、下記のように変更してください。

接続機器	設定
AiSEG2	有効
電力検出ユニット(SPW276-SN)	無効

- ① ◀ ▶ で「有効」または「無効」を選択する
- ② **決定** を押す  
設定されたECHONETLite設定に変更され、「設定を受け付けました。」メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。



## ■ その他の設定

### □ 出力制御

出力制御設定を行います。遠隔出力制御を行う場合には、必ず設定する必要があります。

**出力制御メニュー**

- ▶ スケジュール確認
- 発電量確認
- 出力制御設定

◀ 項目選択 [決定] 設定画面へ

- 外部機器で出力制御が有効な場合、右図の表示が出ます。  

決定

 を押すことで、メニューに戻ります。  
 接続している外部機器の施工説明書をご確認ください。  
 外部機器で出力制御を行う場合、リモコン設定器での出力制御は設定は不要です。
- 出力制御設定が無効の場合、右図の表示が出ます。  

決定

 を押すことで、メニューに戻ります。

上位機器による出力制御が有効なため設定できません。  
 [決定] メニューへ

出力制御が無効なため確認できません。  
 [決定] メニューへ

### □ スケジュール確認

出力制御の予定(経過分含む)を表示します。  
 1ヶ月スケジュールと1日スケジュールを確認します。

- ① ▲ ▼ で確認したいスケジュールを選択する
- ② 

決定

 を押す
- ③ ▲ ▼ で確認したい「月」または「日」を選択する
- ④ 

決定

 を押す

**スケジュール確認**

固定スケジュールの残日数：31日

1ヶ月スケジュール

1日スケジュール

◀ 項目選択 [決定] 設定確定

- ⑤ 設定状況を確認し、

決定

 を押す  
 1 カ月スケジュールは、出力制御の有無を表しています。  
 1 日スケジュールは、時刻と制御割合を表しています。  
 例えば、10 と記載されている場合には10%に出力を制御することを示します。  
 ※出力制御運転中は、売電量が少なくなる可能性があります。蓄電池ユニットに空き容量があれば、売電できない余剰の発電電力を充電します。

1ヶ月スケジュール

**スケジュール確認(1ヶ月)**

▲

**2019/08**

▼

◀ 値変更 [決定] 設定確定

1日スケジュール

**スケジュール確認(1日)**

▲

**2019/01/04**

▼

◀ 値変更 [決定] 設定確定

カレンダー		2019/08							出力制御設定値	
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
31										
○: 出力制御有り -: 情報未取得										
[決定] 戻る										

設定状況		2019/01/04 (1/3)				[%]
00:00	10	03:00	---	06:00	70	
00:30	20	03:30	20	06:30	80	
01:00	30	04:00	30	07:00	90	
01:30	40	04:30	40	07:30	100	
02:00	50	05:00	50	08:00	0	
02:30	60	05:30	60	08:30	10	
◀ ページ切換 [決定] 戻る						

# 設定・確認のしかた(つづき)

## □ 発電量確認

発電量を確認します。

① ▲ ▼ で確認したいパワーコンディショナを選択する

② 決定 を押す

③ ▲ ▼ で発電量を確認したい「年月日」を選択する

④ 決定 を押す

⑤ 設定状況を確認し、決定 を押す

時刻と制御割合を表しています。

例えば、5.00 と記載されている場合には 5.00 kWh 発電したことを示します。

確認対象選択	
▶	パワーコン01 パワーコン02
◀	項目選択 [決定] 入力画面へ

発電量確認	
▲ 2019/01/04 ▼	
◀	値変更 [決定] 設定確定

発電量 2019/01/04 (1/3)[kWh] パワコン1					
00:00	0.00	03:00	0.00	06:00	2.00
00:30	0.00	03:30	0.00	06:30	3.00
01:00	0.00	04:00	0.00	07:00	4.00
01:30	0.00	04:30	0.00	07:30	5.00
02:00	0.00	05:00	0.00	08:00	5.00
02:30	0.00	05:30	1.00	08:30	5.00
▶	ページ切換 [決定] メニューへ				

## □ 出力制御設定

出力制御設定を行います。

※設定は、お客様ではできません。お買い上げの販売店または施工店もしくはメーカーサービスマンにて設定を行います。

出力制御設定	
本画面以降は出力制御の設定画面です。機器メーカーなどの作業員以外の使用は禁止されています。本画面以降の操作は記録されます。	
[決定] 次へ	

## ■ 自動/手動切替設定

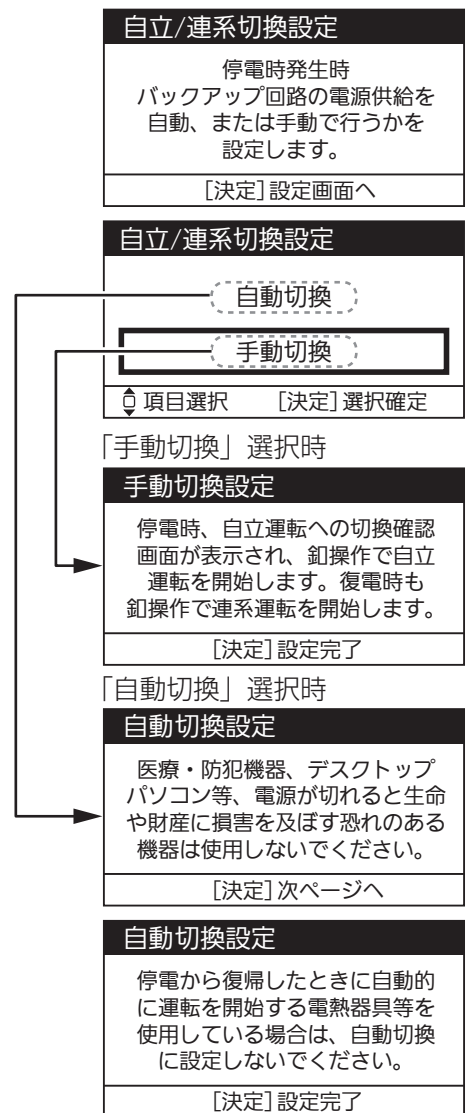
停電時、および停電復旧時に自立運転や連系運転に切り換える方法を設定します。出荷時の設定は「手動切替」です。運転停止状態で設定が可能です。

### 自動切替設定時の注意事項

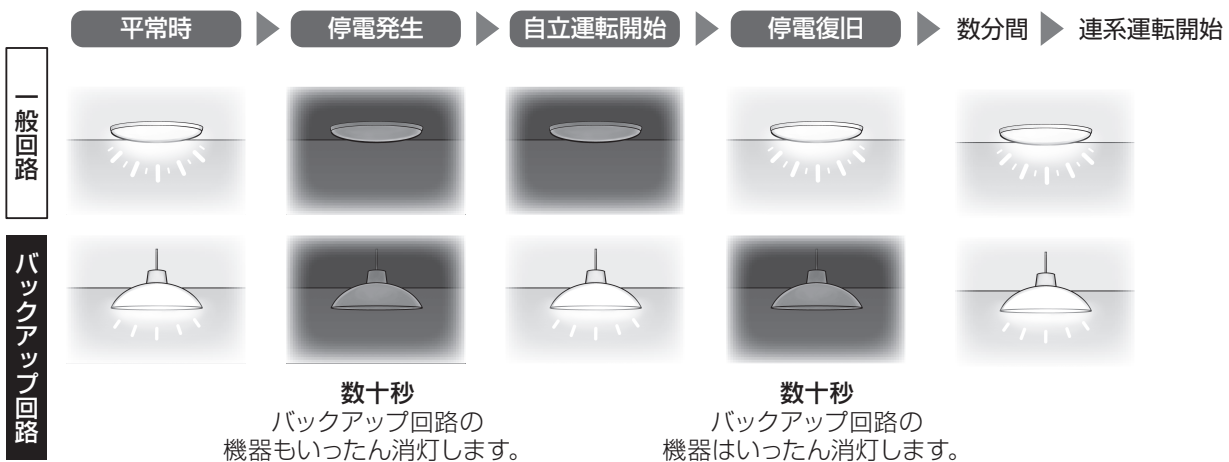
- 停電すると、負荷の状態によらず、バックアップ回路へ自動で給電を開始するため、機器の接続にご注意ください。30 ページも合わせてご確認ください。
  - ・パナソニック製電力切替ユニット(60 Aタイプ)を分電盤一次側設置で使用している場合にも、下記の接続不可の機器は使用できません。  
[バックアップ回路に接続不可の機器の例]
    - ・転倒時の安全装置がない電気ストーブや電気こんろなど電熱器具など
- パナソニック製電力切替ユニット(60 Aタイプ)を分電盤一次側設置で使用している場合には、使用する機器を減らしてください。同時に使用できる電力には限りがあります。自立運転が自動停止した場合、使用中の電気機器を一部停止し、消費電力を小さくすると、自動的に運転を再開します。(消費電力オーバーを連続で繰り返すと、エラーの解除操作が必要になります。)



- ① トップ画面で **メニュー戻る** を押す  
「メニュー (1/3)」画面が表示されます。
  - ② **積算表示** + **決定** を同時に長押しする  
確認メッセージが表示されます。
  - ③ **決定** を押す  
「自動/手動切換設定」画面が表示されます。
  - ④ **▲** **▼** で切換方法を選択する
  - ⑤ **決定** を押す  
設定時の注意メッセージが表示されます。
  - ⑥ **決定** を押す  
設定された切換方法に変更され、「設定を受付けました。」  
メッセージ表示後、メニュー画面に戻ります。
- ※ **メニュー戻る** を押すと操作はキャンセルとなり、前画面に戻ります。



### 自動切換に設定した場合の停電時の動作



# 蓄電池ユニットについて

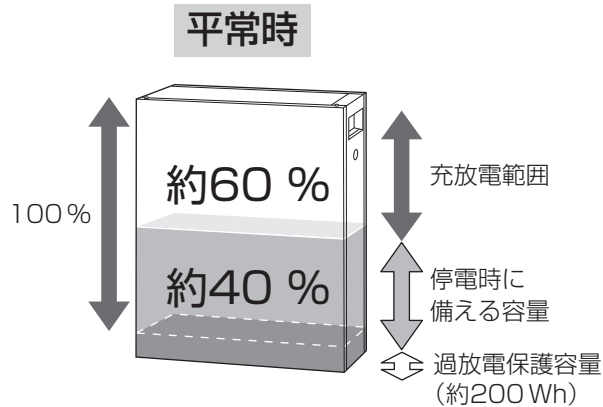
## 平常時の蓄電池の動作

### 経済モード・環境モード

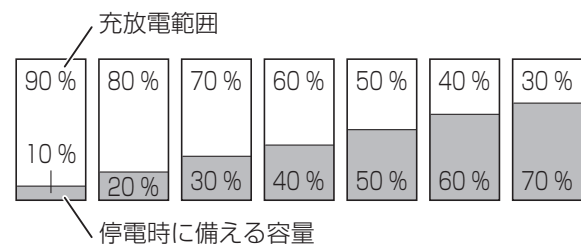
平常時は充放電範囲で充放電します。

蓄電池ユニットの「放電下限残量(停電時に備える容量)」は設定変更可能です。

放電下限の設定値を減らすと、平常時に活用できる蓄電池ユニットの電力が増え、設定値を増やすと停電時に備える蓄電池ユニットの電力が増えます。(39 ページ参照)



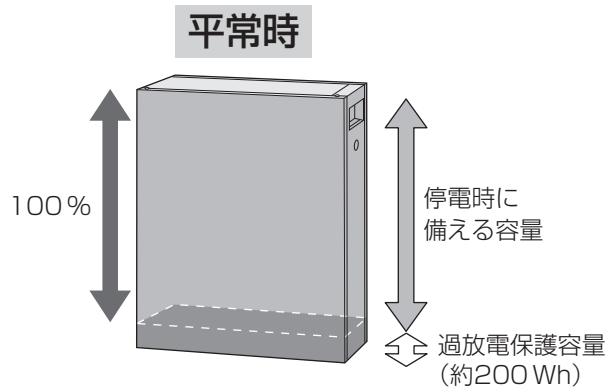
設定により平常時の充放電範囲と停電時に備える充電量を下記のいずれかに設定可能です。



停電時に備えて、蓄電池残量(例: 約40%)を残して放電します。(出荷時の設定)

### 蓄電モード

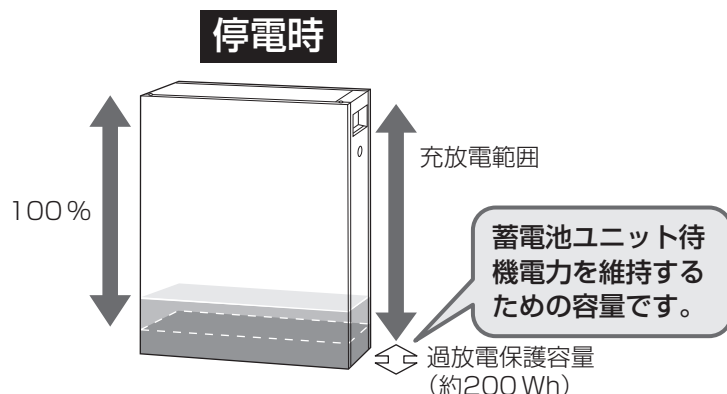
停電時に備えて、常時満充電にするため、放電はしません。



蓄電池ユニットの待機電力で使用した電力を、電力会社または太陽光発電の電力により充電します。

## 停電時の蓄電池の動作

経済モード・環境モード・蓄電モードから自立運転に変わります。



太陽光発電の余剰電力を充電し、太陽光発電の不足分を補うように放電します。

#### ご注意

- 自立運転においては、経済モード・環境モードの放電下限残量の設定は反映されません。

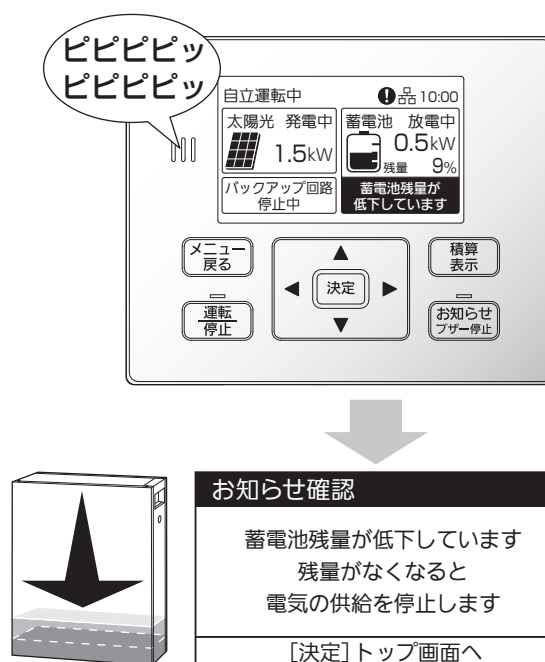
## 停電時、残量 10%のお知らせ

蓄電池残量が 10%以下になると、リモコン設定器のお知らせアイコン表示とお知らせLED点灯とブザー音「ピピピピッ」でお知らせします。

**お知らせブザー停止** を押し、ブザーを止めてお知らせ画面を表示してください。

※ブザーは自動停止しません。機器の使用をひかえてください。そのままご使用になり、蓄電池ユニットの残量がなくなると自立運転を停止し、使用している電気機器も停止します。電源がON(入)になったまま停止した電気機器は、発電開始時に自動的に電源がON(入)になるものもありますので、ご注意ください。蓄電池残量がない状態が続いた場合、お客様による復旧ができなくなります。復旧には、お買い上げ販売店または施工店にご連絡願います。

蓄電池ユニットの残量がなくなると、電力の供給ができなくなり、リモコン設定器が消灯します。太陽光発電が再開すると、自動的に運転を開始し、表示が回復します。自動的に充電を開始し一定程度充電します。



## 満充電動作・低温時の蓄電池保護機能

- 残量が 100%に近づいた場合、充電電力を制限するため、充電に時間がかかります。100%になってからも、充電し続ける場合があります。
- 低温動作保護のため、周囲温度が 0℃付近になると充電電力を制限したり、充電を停止する場合があります。それにより、残量が 100%にならない場合があります。

## 放電中の逆潮防止機能

蓄電池ユニットに蓄えられた電力を売電することはできません。蓄電池の放電可能な電力より使用電力が少ない場合でも、売電しないように常に 50 W前後買電し、不足分を蓄電池からの放電でまかないます。

## 蓄電池ユニットの過放電保護機能について

太陽電池モジュールが接続されていない場合、または既存の太陽光発電システム(太陽電池モジュール、パワーコンディショナ)をそのままご使用される場合は、停電時に充電されません。

蓄電池残量が 0%の状態でも充電されない状況が 2 日程度続くと、過放電を防止するために蓄電池ユニットの開閉器を自動的に切断する場合があります。復旧にはサービスマンの訪問対応(有償)が必要となります。

# 点検停止のお知らせについて

蓄電池の性能は経年により劣化し、ある限度以上劣化すると使用できなくなります。

使用環境、充放電の動作状況により、劣化の速度が異なります。

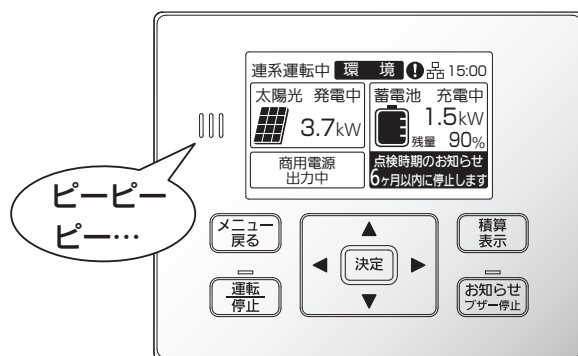
停止の6か月、3か月、1か月前に、リモコン設定器にブザー音と共に、点検時期のお知らせが表示されます。  
(機種により、蓄電池ユニット本体のランプも点灯します)

インターネットに接続している場合、リモコン設定器から点検を実施することで継続使用が可能になる場合があります。

インターネットに接続していない場合、または、使用期間が終了し蓄電池ユニットが停止した場合は、お買い上げの販売店または施工店にご連絡の上、修理・サービス会社による点検(有償)をお受けください。

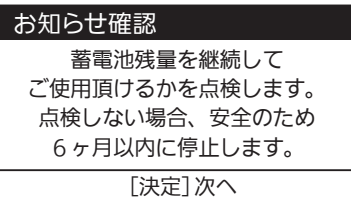
## 1 を押す

ブザーが停止し、蓄電池ユニットの点検のお知らせが表示されます。

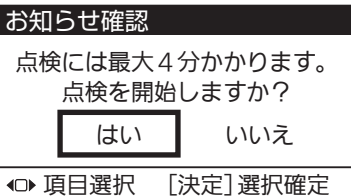


## 2 メッセージを確認して を押す

点検開始の確認画面が表示されます。

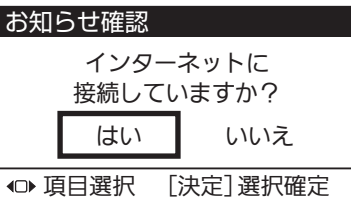


## 3 「はい」を選択して を押す

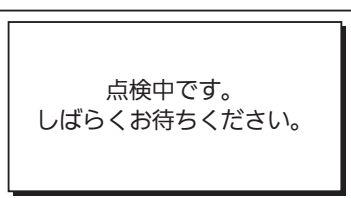


## 4 「はい」を選択して を押す

インターネット接続の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると、トップ画面に戻ります。



点検を開始します。



4で「いいえ」を選択すると右記「修理窓口へご連絡」のお知らせが表示されます。

**決定** を押すと、トップ画面に戻ります。

お知らせ確認
蓄電池ユニットの 点検停止のお知らせです。 修理窓口へご連絡ください。
[決定] トップ画面へ

## 5 点検結果を確認する

### ■使用期間の延長

確認後、再度点検停止のお知らせが表示されるまで、運転可能です。

点検が完了しました。 継続してご使用頂けます。
[決定] トップ画面へ

### ■使用期間の終了

表示の期間に、動作を停止します。  
停止後、ハイブリッドパワコンは蓄電池の切り離し運転を行います。  
(23 ページ参照)  
お買い上げの販売店または施工店に連絡してください。

点検が完了しました。 継続してご使用頂けません。 修理窓口へご連絡ください。
[決定] トップ画面へ

### ■点検の失敗

- ファームウェアが最新でないため、点検できません。  
ファームウェア更新後、再度点検を実施してください。(64 ページ参照)
- ネットワーク環境に問題があるため、点検できません。接続状態を確認してください。  
再度点検は、サーバへの接続周期により、25 時間後の実施をおすすめします。

お知らせ確認
ファームウェアの更新が 必要です。「メニュー」の 「バージョン確認」から 更新をしてください。
[決定] トップ画面へ

お知らせ確認
ネットワークに問題があります。 接続を確認してください。 25時間以上経過した後、 再度点検を開始してください。
[決定] トップ画面へ

## 6 **決定** を押す

トップ画面に戻ります。  
使用期間が延長されたときは点検停止のお知らせ表示が消えます。

# こんなときは

## 放電しない場合

ハイブリッドパワコンは、売電中蓄電池から放電できません。

売買電を検出するセンサーは、L1相、L2相に2個接続されています。L1相、L2相の両方に、100W程度の買電がないと放電を開始できません。

## 太陽光発電システム専用ブレーカを切りたいとき<維持充電>

### 長期不在にするときなど

- ハイブリッドパワコンは運転を停止しても、待機電力を消費します。
- 住宅用分電盤の太陽光発電システム専用ブレーカを切るときなど、長期間停止するときは、ハイブリッドパワコンの運転を「維持充電」状態にしてください。

(下記手順参照)

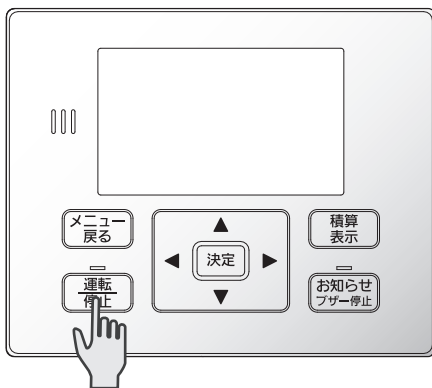
蓄電池が残量0%の状態では充電ができない状況が2日程度続くと、蓄電池ユニットの過放電を防止するために、蓄電池ユニット内部の開閉器が自動的にOFF(切)になります。

開閉器がOFF(切)になった場合は、蓄電池ユニットを再度使用する際にメンテナンスが必要となります。

長期間、蓄電池ユニットの開閉器がOFF(切)の状態では放置しますと蓄電池ユニットの交換(有償)が必要になる場合があります。

「維持充電」状態にしておくと、住宅用分電盤への入出力は停止しますが、太陽光発電による電力が蓄電池ユニットに充電され、過放電を防止します。ただし太陽電池モジュールが接続されていない場合、または既存の太陽光発電システム(太陽電池モジュール、パワーコンディショナ)をそのままご使用される場合は、蓄電池ユニットに充電できません。

### 1 **運転停止** を押す



### 2 「維持充電」を選択し、**決定** を押す

運転/停止切換	
運転	太陽光から蓄電池への充電のみの運転を開始します
<b>維持充電</b>	
停止	
項目選択	[決定] 設定完了

「維持充電を受け付けました。」メッセージ表示後、トップ画面に戻ります。

維持充電を受け付けました。  
太陽光から蓄電池の充電のみを行います。

- 太陽電池モジュールを接続しないシステムの場合、「維持充電」は動作しません。長期不在にする場合は、お買い上げの販売店または施工店に連絡し、蓄電池ユニットの開閉器をOFF(切)にする対応を依頼してください。
- 夜間(太陽電池モジュールが十分に発電していない状態)には、リモコン設定器の電源が落ち、表示部も消えて、運転操作ができなくなります。リモコン設定器の電源が切れた場合、再び操作するためには、太陽光発電システム専用ブレーカを入れるか、太陽電池モジュールが発電する必要があります。

## システムを停止したいとき

### 転居するときなど

転居などにより、システムを停止させたい場合は、開閉器および蓄電池ユニット内部の開閉器をOFF(切)にするため、メンテナンスが必要となります。

お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

## 運転を停止したいとき<停止>

### お手入れをするときや障害が発生したとき

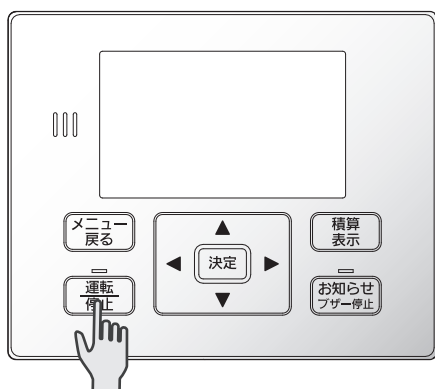
お手入れをされるときや、障害が発生したときは運転を停止してください。

お手入れが終われば運転を再開してください。

※運転停止状態で長期間放置すると、蓄電池ユニットの開閉器がOFF(切)となり、メンテナンスが必要となります。

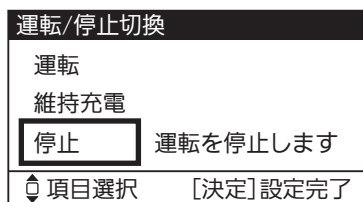
長期間、蓄電池ユニットの開閉器がOFF(切)の状態に放置しますと蓄電池ユニットの交換(有償)が必要になる場合があります。

1 **運転停止** を押す

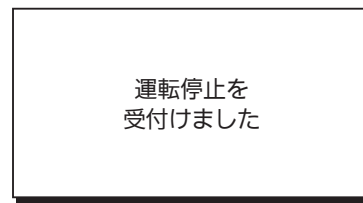


2 「停止」を選択し、

**決定** を押す



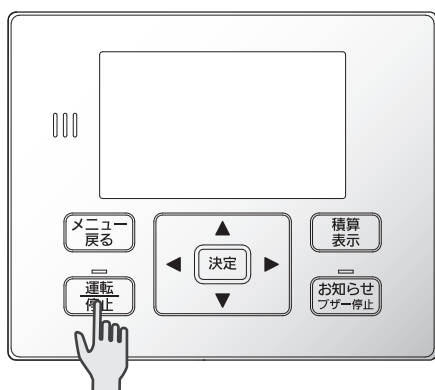
「運転停止を受けました。」  
メッセージ表示後、  
トップ画面に戻ります。



## 運転を再開したいとき<再開>

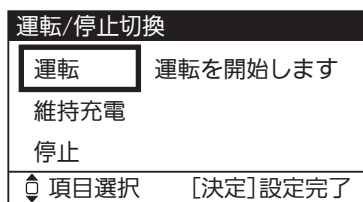
### 運転再開するとき

1 **運転停止** を押す

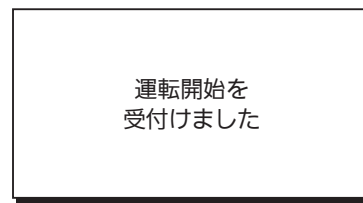


2 「運転」を選択し、

**決定** を押す



「運転開始を受けました。」  
メッセージ表示後、  
トップ画面に戻ります。



## AiSEG2 を接続している場合

ハイブリッドパワコンをAiSEG2に登録する方法は、AiSEG2の設定マニュアルをご確認ください。

AiSEG2の設定方法や画面表示などでは、パワーステーションをハイブリッドパワコンと読み替えて対応ください。

AIソーラーチャージ機能、ピークアシスト機能には対応していません。

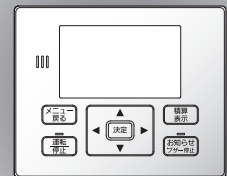
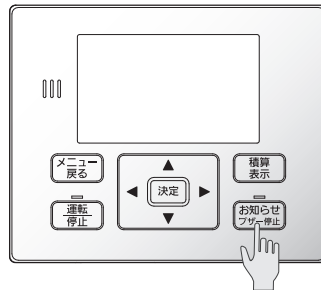
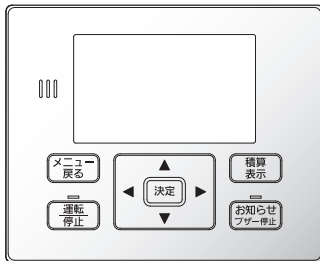
# こんなときは(つづき)

## 点検コードが表示されたとき

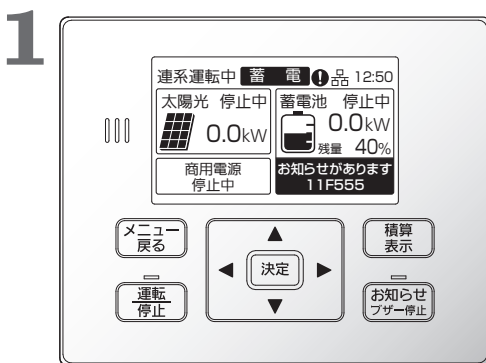
下記内容をご確認の上、対処方法をお試しください。

確認の結果、異常がある場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

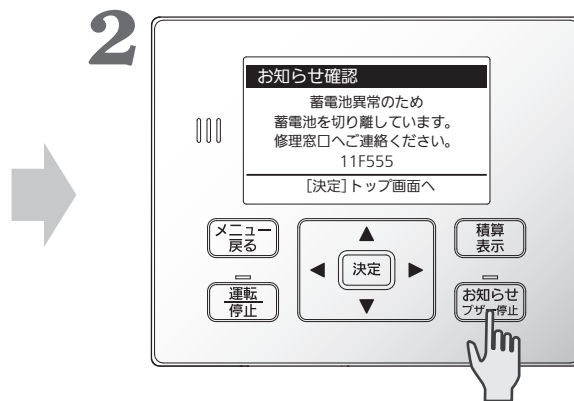
- 1 リモコン設定器のお知らせを確認してください
- 2 お知らせの内容を元に、取扱説明書を確認し、処置を行ってください
- 3 確認した後、異常がある場合には、お買い上げの販売店までご連絡ください



### ●点検コードの確認方法



「お知らせがあります」が表示されていることを確認します。



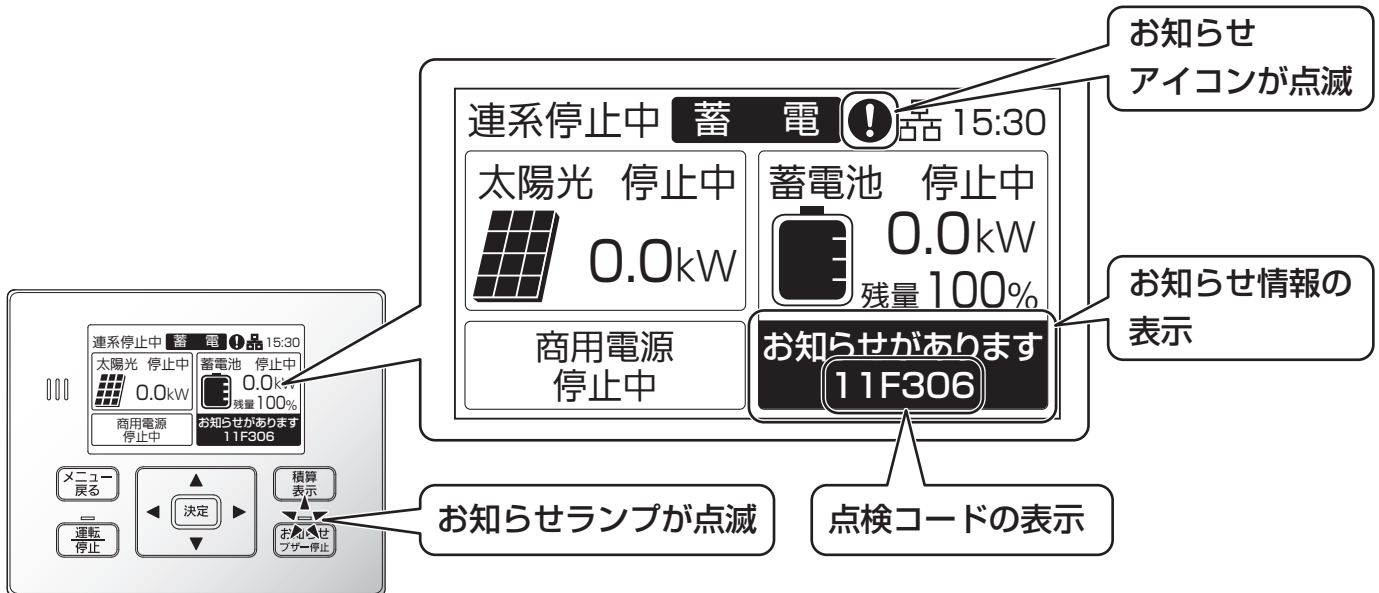
**お知らせフザー停止** を押すことで、お知らせ発生内容が表示されます。



## 点検コードの内容と処置のしかた

点検コードは、リモコン設定器で表示されます。正常な運転ができないときには、お知らせランプの点滅と共に、お知らせアイコン、お知らせ情報の表示がされます。状況により、運転を停止することがあります。

### ■お知らせ発生時の表示画面

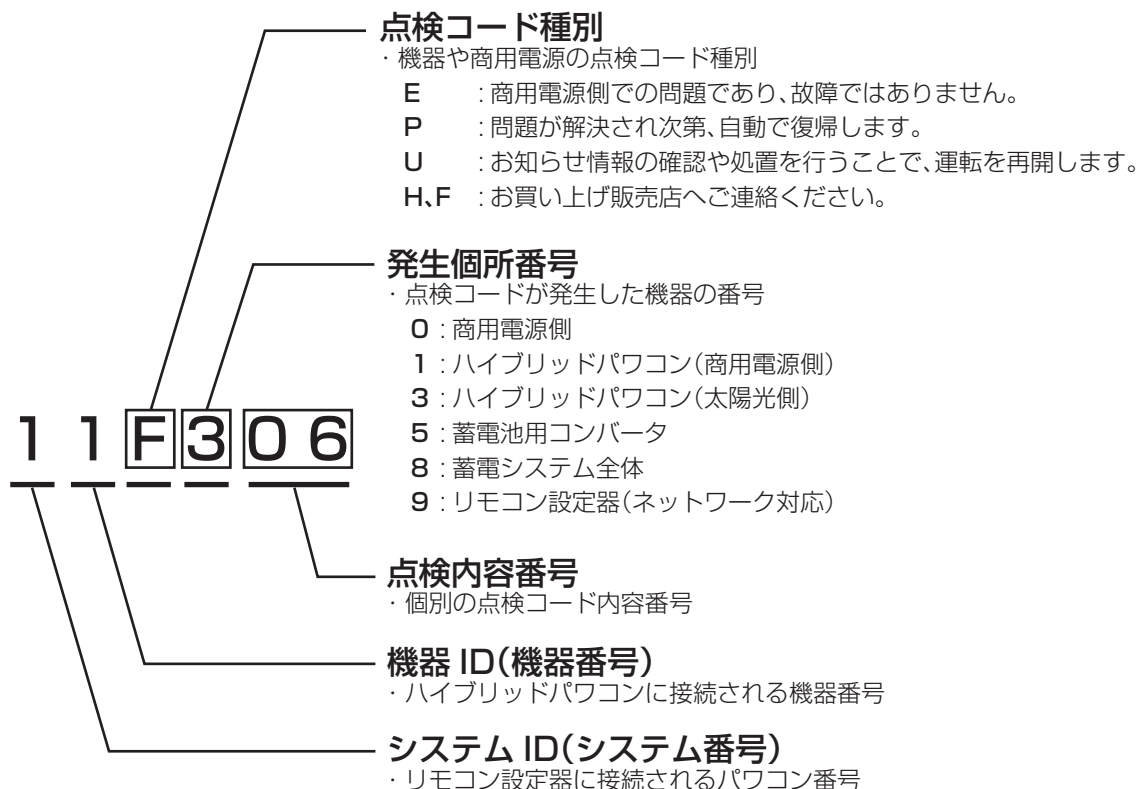


(蓄電池部ありでの画面表示例)

### ■点検コードの体系

点検コードは、6桁で表されています。ローマ字含む点検コードで発生した機器の特定、点検コード対応区分、発生内容を特定することができます。

システムID、機器IDは接続される機器に依存するため、以降、本説明書では省略して表記します。



# こんなときは(つづき)

## ■Eの点検コード(商用電源側)の内容と処置のしかた

これは故障ではありません。

点検コード	要因	処置
E001 ~E014	停電または商用電源の乱れによる運転停止原因が解消されれば、自動的に運転を再開します。	商用電源が正常になるまでお待ちください。住宅内の他の電気製品が正常に使用できるにもかかわらず、長い間この状態が継続する場合は、太陽光発電システム専用ブレーカがOFF(切)でないかを確認し、OFF(切)であればON(入)にしてみてください。また、太陽光発電システム専用ブレーカが頻繁にOFF(切)になるようであれば、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

## ■Pの点検コード(自動復帰)の内容と処置のしかた

点検コードの表示がされても正常な状態やリモコン設定器の操作で10秒~数分後(整定値の復帰時間設定値)に自動的に運転を再開します。

点検コードが頻繁に表示するようなときは、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード	処置
P101	・商用電源側で電圧が不足しています。正常に戻り次第自動復帰します。
P102 ~P109、P114、P129 ~P132	・ハイブリッドパワコンで問題があり、保護のため一時的に運転停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P150、P151	・自立運転時、接続機器が多い可能性があります。 接続機器を減らしてください。
P152 ~P156、P158、P163、P164	・自立運転中に問題があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P157	・自立運転時、接続機器が多い可能性があります。 接続機器を減らしてください。
P301 ~P304、P311 ~P314、 P316 ~P319、P341 ~P344	・太陽光入力側で問題があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P501、P505、P507、P511、P519、 P521 ~P525	・蓄電池用コンバータで異常があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P528	・蓄電池用コンバータの内部温度が温度範囲を超え、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P529、P540、P541、P544、P546、 P549、P551、P555	・蓄電池用コンバータで異常があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P802 ~P805	・蓄電池部で異常があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P814	・システムで異常があり、保護のため一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P901 ~P904、P951	・リモコン設定器で信号異常のため、一時的に運転を停止しました。 正常に戻り次第、自動復帰します。
P958 ~P963	・出力制御を行う上で、必要な条件が揃っていません。 適切な状態になり次第、自動復帰します。

## ■Uの点検コード(処置により運転再開対応)の内容と処置のしかた

リモコン設定器に表示されるお知らせ情報の表示内容の確認や操作や、下記に記載の対応をすることで、運転を再開します。点検コードが頻繁に表示するようなときは、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード	処置
U101	・商用電源側で電圧が不足しています。しばらくした後に再起動してください。
U102、U103、U107、U112～U115、U122、U124、U125、U129～U132	・ハイブリッドパワコンで問題があり、保護のために運転を停止しました。 しばらくした後に再起動してください。
U150、U151	・自立運転時、接続機器が多い可能性があります。 接続機器を減らし、再起動してください。
U152～U156、U160、U163、U164	・自立運転中に問題があり、保護のため運転を停止しました。 しばらくした後に再起動してください。
U157	・自立運転時、接続機器が多い可能性があります。 接続機器を減らしてください。
U311～U314、U316～U319、U335、U341～U344	・太陽光入力側で問題があり、保護のため運転を停止しました。 しばらくした後に再起動してください。
U503、U505、U519、U524、U533、U540、U544	・蓄電池用コンバータで異常があり、保護のため運転を停止しました。 画面操作に従い、再起動することで運転を開始できます。
U899	・停電または商用電源の乱れにより運転停止しました。 リモコン設定器の画面にお知らせが表示されます。 頻繁に表示されるようであれば、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。
U952	・時刻が設定されていません。 時刻を設定の上、再起動してください。

## ■Hの点検コード(サービスマン対応)の内容と処置のしかた

リモコン設定器の画面指示に従ってください。正常に動作しない場合には、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード	処置
H101	・商用電源側で問題が発生している可能性があります。 頻繁に発生する場合には、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H102～H114	・ハイブリッドパワコンで問題があり、保護のために運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H115	・逆潮流防止電流センサの信号が来ていない可能性があります。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H116、H117、H122、H129～H132	・ハイブリッドパワコンで問題があり、保護のために運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H150、H151	・自立運転中に問題が出ました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H152～H156、H158、H160、H163～H166	・自立運転中に問題があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

# こんなときは(つづき)

(Hの点検コードのつづき)

点検コード	処置
H157	・自立運転時、接続機器が多い可能性があります。 自立運転中に問題があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H301～H304、H311～H314、 H316～H319、H335、H336、 H341～H344	・太陽光入力側で問題があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H501、H505、H507、H511、H519、 H521～H525、H527、H529、H539、 H540、H544、H546、H549、 H552～H554、H556～H591	・蓄電池用コンバータで異常があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H597	・電池残量が異常状態まで低下しています。 お買い上げ販売店または施工店にご相談ください。
H598	・蓄電池の寿命です。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
H906、H953～H955	・リモコン設定器で異常信号を受信したため、保護のために運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

## ■Fの点検コード(サービスマン対応)の内容と処置のしかた

リモコン設定器の画面指示に従ってください。正常な動作しない場合には、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

点検コード	処置
F120、F121	・ハイブリッドパワコンで問題があり、保護のために運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
F537、F538	・蓄電池用コンバータで異常があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。
F810	・蓄電池部で異常があり、保護のため運転を停止しました。 お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

## ■その他

### ●十分な日射があり、発電量が少ないときについて

十分な日射がある時にハイブリッドパワコンが最大電力付近で運転を続けると、ハイブリッドパワコンの放熱フィンや上面などが温度上昇し、ある温度になると抑制運転をすることがあります。ハイブリッドパワコンの保護機能ですので、故障ではありません。

ハイブリッドパワコンが熱くなっていることがありますので、不用意に手を触れないでください。やけどの原因になることがあります。

ハイブリッドパワコンの設置されている周囲温度が高い可能性がありますので、頻繁に発生する場合には、お買い上げ販売店または施工店にご確認ください。

### ●積雪時の運転について

太陽電池モジュール上に積雪があると、太陽光がさえぎられるため発電量が減ります。積雪量が増えてくるとハイブリッドパワコンが停止することがありますが、故障ではありません。太陽電池モジュール上の積雪が減れば自動的に運転を再開します。

停電状態かつ積雪などで太陽光モジュールの発電が出来ず、蓄電池に充電できない状態が続くと、蓄電池の過放電保護の機能により蓄電池が使用不可となる可能性があります。

太陽電池モジュール上の積雪を減らすなどして、常に運転できる状態にしてください。

### ●ハイブリッドパワコンのにおいについて

ハイブリッドパワコンの使用当初や運転状況により、においがすることがありますが故障ではありません。

### ●一括制御リモコン(別売品)「リモート無効機器あり 本体運転/本体停止」の表示について

以下の場合、一括制御リモコンの表示部に「リモート無効機器あり 本体運転/本体停止」と表示されます。各パワーコンディショナの施工説明書に従って設定してください。

- ・屋内屋外兼用マルチストリング型パワーコンディショナ、屋外用集中型パワーコンディショナ  
機器間通信選択を適切に選択していない場合。(施工業者による作業が必要)  
運転SWを「リモート」設定していない場合。
- ・屋内用集中型パワーコンディショナ  
機器間通信選択を適切に選択していない場合。(施工業者による作業が必要)  
運転スイッチを「運転」にしていない場合。

上記の対応を行っても、「リモート無効機器あり 本体運転/本体停止」が表示される場合には、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

### ●自立運転中にバックアップ回路(自立運転出力回路)に接続している機器に電力が供給されなくなった。

電気機器を使いすぎた可能性があります。

パナソニック製電力切替ユニット(特定負荷ブレーカ付)または、バックアップ用住宅分電盤を使用している場合には、内部のブレーカが電気の使いすぎによりOFF(切)になった可能性があります。

下記の条件に当てはまる場合、パナソニック製電力切替ユニット(特定負荷ブレーカ付)、または、バックアップ用住宅分電盤ブレーカの状態を確認し、ブレーカがOFF(切)になっている場合には、使用する機器を減らし、ブレーカをON(入)にしてください。

- ・お知らせ情報(点検コード)が表示されない。
- ・リモコン画面には自立運転中の表示がされている

# 点検とお手入れのしかた

特に台風や地震、落雷などの自然災害の後は、販売店または施工店による点検をお勧めします。水没時は感電のおそれがありますので、ハイブリッドパワコンに近づかず、水が引いても触らないでください。異常・故障時には、直ちに運転を停止し太陽光発電システム専用ブレーカをOFF(切)にして、お買い上げの販売店または施工店にご相談ください。

## 定期点検

製品を長く、安全にお使いいただくために、定期点検を行ってください。  
下記、定期点検表を用いて、1か月に1回を目安に実施ください。

定期点検表（必要枚数をコピーしてお使いください）			点検年月・点検結果（○／×）					
点検対象	点検項目	点検内容	／	／	／	／	／	／
周囲環境	ガス	可燃性ガスや引火性溶剤が近くに無いか						
	温度、湿度、ホコリ	-20~50℃、90%以下(結露なし)になっているか						
		放熱を妨害する物が置かれていないか またはホコリなどが溜まっていないか						
	設置状態	点検スペースが確保されているか						
機器の状態	外観	傷やへこみ、さびなどがついていないか (必要に応じて再防せい処置などを実施してください)						
	異常音	通常と異なる音が発生していないか						
	におい	こげ臭い異臭などが無いか						
リモコン設定器表示	点検コード表示	点検コード画面（お知らせ情報表示）が表示されていないか（56ページ参照）						

※自立運転について、1年に1回程度を目安に動作ができることをご確認ください。（18ページ参照）

## ハイブリッドパワコンの整定値と設定値 お客様控え

必ず施工業者にご記入いただき、今後のメンテナンスのためにも大切に保管してください。

### ■主な整定値

保護機能	整定値	時限
過電圧 OVR	V	秒
不足電圧 UVR	V	秒
周波数上昇 OFR	Hz	秒
周波数低下 UFR	Hz	秒

保護機能	整定値	時限
受動的方式	度	0.5 秒以内に動作
再並列阻止時間 (復帰時間)		秒
電圧上昇抑制	V	
力率		

### ■主な設定値

設定項目	設定値
運転モード設定	
充放電時間帯設定	充電時間 ~ 放電時間 ~
放電下限設定	%

設定項目	設定値
ブレーカ電流 上限設定	
契約電力上限設定	
自動/手動切換	

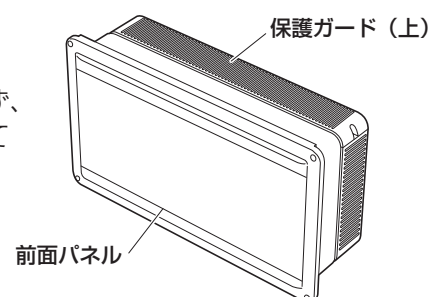
## お手入れのしかた

### ご注意

- 機器の運転中は温度が上昇するため、お手入れ前に運転を停止し、お手入れ後、運転を再開してください。(19 ページ参照)
- 保護ガードの通風孔がごみなどに塞がれ、お手入れしても取り除けない場合は、お買い上げの販売店または施工店へご連絡してください。

### ■ハイブリッドパワコン

- 表面の清掃を行う  
水洗い、高圧式洗浄装置や洗剤、薬品類(スプレー剤などを含む)を使わず、乾いた布または固く絞ったやわらかい布でハイブリッドパワコンをふいてください。
- 保護ガードのごみなどを払う  
保護ガードにごみなどがたまると、放熱の妨げとなるので除去する。



### ■リモコン設定器(ネットワーク対応)

本体や画面をやわらかい布でから拭きする

### 汚れがひどい場合は

- やわらかい布を水にひたし、よく絞って拭き取る
- 乾いた柔らかい布で水分を拭き取る

### ご注意

- ベンジン、シンナーや油系の洗剤を使用しないでください。また水をかけないでください。
- リモコン設定器の画面は、強く押さえないでください。故障の原因になります。

# ファームウェアアップデートについて

## 重要！

ファームウェア更新中は、ハイブリッドパワコンの運転が停止し、売電などはできません。  
また、更新完了後はトップ画面に戻ります。必ず運転状態を確認してください。

リモコン設定器の新しいファームウェアがダウンロードされると、トップ画面にファームウェア更新のお知らせが表示されます。

### 1 お知らせランプを押す

ファームウェア更新の確認画面が表示されます。

### 2 「はい」を選択して **決定** を押す

「いいえ」を選択すると、トップ画面に戻り、ファームウェア更新のお知らせは消えます。運転中などのため、後日更新したいときは、一旦「いいえ」を選択し、メニュー画面のバージョン確認(45 ページ参照)にて実施してください。

### 3 メッセージを確認して **決定** を押す

お知らせランプが赤点灯し、運転停止後ファームウェアの更新を開始します。更新が終了すると、お知らせランプが消灯します。自動でリモコン設定器は再起動しトップ画面に戻ります。

#### ご注意

- 更新中は内部処理をしていますので、故意に電源を切らないでください。
- 処理時間目安は更新するファームウェアの内容によって変化します。
- 再起動時はトップ画面に戻ります。運転状態を確認してください。
- ファームウェア更新に失敗するとお知らせランプが赤点滅します。その場合は、お買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。

連系運転中	環境	品	12:34
太陽光 発電中	蓄電池 充電中		
2.5kW	1.5kW	残量 70%	
商用電源 出力中	最新のファームウェアがあります		

ファームウェア更新	
最新のファームウェアがあります。ファームウェアの更新を実施します。	
はい	<b>いいえ</b>
◀ 項目選択	[決定] 選択確定

更新を開始します。 (処理時間目安：xx分)
[決定] 更新開始

ファームウェア更新中です。 しばらくお待ちください。
-------------------------------

再起動

消灯

お知らせ  
ランプ停止

連系運転中	環境	品	12:50
太陽光 発電中	蓄電池 充電中		
2.5kW	1.5kW	残量 70%	
商用電源 出力中			



# 仕様

## ■ハイブリッドパワコン

項目	仕様	
品番	SHRC55AS-SN(耐塩)	
主回路方式	電圧型電流制御方式	
スイッチング方式	正弦波PWM方式	
入力	回路数(昇圧)	4回路
	定格入力電圧	DC330 V
	入力運転電圧範囲	DC40 V ~ DC450 V(最大許容電圧: 450 V)
出力	定格出力	5.5 kW(力率 0.95 時および 1.0 時)
	定格容量	5.8 kVA(力率 0.95 時) 5.5 kVA(力率 1.0 時)
	定格出力電圧	AC202 V(単相 2 線式 ただし連系は単相 3 線式)
	定格出力周波数	50 Hz/60 Hz
	定格出力電流	28.7 Arms(力率 0.95 時)
電力変換効率(定格出力時)	96.5% (定格入力電圧DC330 V 入力時、力率 0.95、JIS C 8961 による)	
絶縁方式	トランスレス方式(直流地絡保護機能、出力直流分検出機能)	
定格力率 <sup>※1</sup>	0.95	
電力制御方式	太陽電池最大電力追尾制御(MPPT)	
保護機能	直流過電圧、直流不足電圧、直流過電流、交流過電流、直流地絡、温度異常	
連系保護機能	交流過電圧、交流不足電圧、周波数上昇、周波数低下、電圧上昇抑制、多数台連系対応型単独運転防止、FRT(系統事故時運転継続)要件	
単独運転検出機能	能動方式: ステップ注入付周波数フィードバック方式 受動方式: 電圧位相跳躍検出方式	
自立運転機能 <sup>※2</sup>	【100 V設定時】	【200 V設定時】
	主回路方式 電圧型電圧制御方式	主回路方式 電圧型電圧制御方式
	定格出力電力 2.75 kVA <sup>※3</sup> 定格出力電圧 AC101 V(50 Hz/60 Hz)	定格出力電力 4.0 kVA <sup>※3、※4</sup> 定格出力電圧 AC202 V(50 Hz/60 Hz)
消費電力	運転時	0 W/0 VA
	待機時	8 W未満(リモコン設定器消費電力 2 W含む)
遠隔出力制御機能	対応(別途、必要となる機器あり)	
外形寸法	706(幅)×407(高さ)×214(奥行 <sup>※5</sup> ) (mm)	
質量	約 26 kg(取付板(保護ガード付き)、保護ガード(上)を含む場合、約 30 kg)	
設置場所	屋側(屋側とは軒下など直接雨のかからない建物の屋外側面)	
使用温度範囲	-20℃~+50℃(直射日光が当たらないこと)	
湿度	90%以下(結露のないこと)	
付属品(お客様用)	取扱説明書(1)、かんたんガイド(1)	

## ■リモコン設定器(ネットワーク対応)

項目	仕様	
動作電圧	DC12 V	
消費電力	1 W以下: 待機時(バックライトOFF、ブザーOFF、有線LAN使用時)	
	2 W以下: 動作最大時(バックライトON、ブザー大鳴動、無線LAN使用時)	
消費電流	210 mA以下: 動作最大時(バックライトON、ブザー大鳴動、無線LAN使用時)	
ブザー音量	大: 約 70 dB、中: 約 64 dB、小: 約 55 dB、切	
液晶表示部	ドット液晶(240×128ドット)	
通信機能	有線LAN通信	100BASE-TX/10BASE-T
	無線LAN通信	準拠規格: IEEE802.11b/g、使用周波数: 2.412 GHz~2.472 GHz
	シリアル通信	RS-485
使用温度範囲	-20℃~+50℃	
使用湿度範囲	90%以下(結露のないこと)	
外形寸法	148(幅)×120(高さ)×26.7(奥行) (mm) <sup>※突起物を除く</sup>	
質量	0.31 kg(取付金具を除く)	

※ 1 力率を変更する場合は電力会社との協議が必要です。

※ 2 自立出力設定により自立運転時の出力を 100 V、200 Vのいずれかを選択が可能

※ 3 蓄電池ユニット 1 台接続の場合は、自立出力電力は 2 kVAとなります。

※ 4 別途、200 Vトランスユニットの設置が必要です。

※ 5 取付板(保護ガード付き)含む奥行 216 mm

● 本機は計量法の対象製品ではありません。発電量、蓄電池容量、および換算金額などの数値は目安となります。

● この仕様はJIS(日本産業規格)に基づいた数値です。

# 補助金申請関連仕様

## ■対象パッケージ型番

パッケージ型番	品番					蓄電容量 (kWh)
	ハイブリッド パワコン	蓄電池用 コンバータ ①	蓄電池ユニット ①	蓄電池用 コンバータ ②	蓄電池ユニット ②	
PSH-RC42056-SN	SHRC55AS-SN	SHDB56AS-SN	SHBU56A-SN	/		5.6
PSH-RC42112-SN				SHDB56AS-SN	SHBU56A-SN	11.2

## ・蓄電池部

品番	SHBU56A-SN
内蔵蓄電池 モジュール	リチウムイオン蓄電池 DC 46.8 V 60.21 Ah×2個
蓄電容量	5.6 kWh
耐久性	サイクル試験合格商品
適合安全規格	JIS C 8715-2

## ・蓄電システム

パッケージ型番	初期 実効容量 <sup>※1</sup>	定格出力 (系統連系時)	定格出力 (自立運転時の蓄電池出力)		定格出力可能時間		適合安全規格
			自立出力設定 : 100 V	自立出力設定 : 200 V <sup>※2</sup>	自立出力設定 : 100 V	自立出力設定 : 200 V <sup>※2</sup>	
PSH-RC42056-SN	4.5 kWh	5.5 kW (AC101/202 V, 50/60 Hz)	2.75 kVA (AC101 V, 50/60 Hz)	4.0 kVA (AC101/202 V, 50/60 Hz)	150 分	150 分	JES C 4412-1 及び 「蓄電システムの 一般及び安全要求 事項(1)」10
PSH-RC42112-SN	8.9 kWh				210 分		

※1 JEM 1511 による

※2 別途、200 Vトランスユニットの設置が必要です。

### お知らせ

- 補助金の支給を受けて対象システムを購入した場合、所有者(購入設置者)は、当該システムを法定耐用年数の間、適正な管理・運用を図る必要があります。本製品をご購入後は故障内容により無償または有償の修理を行いますので、故障の際はご購入の販売店または施工店にご連絡ください。



## 本システムに関する重要事項説明

以下内容は、お客様に特にご確認いただく必要のある内容です。  
また、自立運転を開始する前には必ずご確認ください。

No.	説明・確認項目
1	医療機器・防犯機器・デスクトップパソコンなど電源が切れると生命や財産に損害を受けるおそれのある機器、および、停電から復帰したときに自動的に運転を開始する暖房器具・電熱機器は、自立運転時には使用しないでください。通常時、上記機器をつないでいる場合は、自立運転切替設定を手動設定にしたうえ、自立運転を開始する前にコンセントから外してください。
2	本機はUPS(無停電電源装置)ではありません。自立運転開始時に電力供給が一時的に停止します。サーバーなど瞬時停電で問題が生じる機器は直接接続しないでください。
3	機器によっては瞬間的に大きな消費電力が発生する場合があります。自立運転時には蓄電システムの保護機能が働き停止することがあります。
4	停電時に、同時に使用できる電力には限りがあります。使用できる電力はハイブリッドパワコンの仕様書に記載された出力容量までです。バックアップ回路のご使用機器全体の消費電力が自立出力より大きい場合は運転を停止します。
5	蓄電システムから供給される自立出力は、系統電源と完全に同一ではありません。調光器具によっては、自立出力でお使いの際に平常時と動作が異なる場合があります。例えば、調光器具の場合は、調光レベルによってちらつきが発生する場合があります。その時は調光レベルを調節してご使用ください。
6	発電機等の出力を系統電源として蓄電システムに入力することはできません。また、蓄電システムの自立出力を弊社が認めた機器以外の発電機と接続することはできません。
7	使用開始から10.5年後(その後2.5年毎)もしくは蓄電容量が規定値まで減少した場合に、当社修理・サービス会社による点検(有償)が必要となります。点検期間中に、「点検停止のお知らせ」による使用期間の延長を行うことで、蓄電池の状態によっては延長してご使用いただけますが、蓄電容量が規定値まで減少している場合は、蓄電池モジュールの交換(有償)が必要です。点検を受けられていない場合は、安全のため自動的に運転を停止します。
8	補助金を受給して本システムをご購入される場合、処分制限期間内に処分すると補助金の返還を求められる場合があります。
9	本機の使用に際して接続した機器の故障、不具合などの補償や、本機の故障、不具合によって生じた本機以外の直接・間接の損害(発電量損失など)について、当社は一切その責任を負いません。
10	本機の故障、不具合など何らかの原因で、外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合や外部メディア・記録機器などに既に記録されていた記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いません。

株式会社サニックス

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号  
TEL 0120-39-3290